

# 令和8年度 (2026年度) 当初予算資料

## 【概要版】



今治市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

今治市 総務部総務政策局 財政課

会計	8年度当初予算額	7年度当初予算額	増減額	対前年度比
一般会計	<b>853億円</b>	813億円	+40億円	+4.9%

「脱衰退」～市民が誇れる「瀬戸内の世界都市」へ～

市役所の政策アンテナをさらに広げ、「人口減少」や「物価高騰」「災害対策」などの課題に的確に対応する事業の推進と、持続可能な行財政基盤構築の両立を図りつつ、市民が誇れる「瀬戸内の世界都市」を目指すまちづくりに挑戦する**積極的な新規施策を展開**

一般会計の特徴

歳入

- 市税** 241億円 (前年比 +20億円 +9.1%)  
個人所得の上昇や好調な企業業績などで増
- 地方交付税** 173億円 (前年比 △15億円 △7.8%)  
市税の増収見込みを反映した普通交付税の減
- 国庫支出金** 132億円 (前年比 +15億円 +13.3%)  
障害福祉サービス費や国の経済対策などで増
- 県支出金** 67億円 (前年比 +4億円 +6.3%)  
障害福祉サービス費などで増

歳出

- 民生費** 338億円 (前年比 +14億円 +4.2%)  
障害福祉サービス費や後期高齢者療養給付費などの増
- 教育費** 95億円 (前年比 +0.2億円 +0.3%)  
小中学校の特別教室空調整備費などの増
- 土木費** 89億円 (前年比 +4億円 +4.8%)  
公共道路改良事業、治水施設（排水ポンプ場）整備費などの増
- 商工費** 42億円 (前年比 +6億円 +15.6%)  
地方大学・地域産業創生事業費、商工振興対策費などの増

5つの重点施策

**I 「考動する市役所」がある『まち』に**

考動する市役所への進化、政策アンテナ・戦略的情報発信の強化、スマートシティ今治の推進

**II 人が元気になる『まち』に**

～ひとりひとりが輝く今治の創出～

子育ての理想郷の実現、今治型学校教育の推進、教育環境の整備・充実、健康・医療・福祉都市づくり、共生社会の充実「みなさと」戦略の展開

**III 産業に活力を与える『まち』に**

～瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進～

地域経済の「新しい成長」、i.i.imabari!のパワーアップ、産業のDX・GXの支援、新・今治のみなとづくり・まちづくり、強い農・林・水産業づくりの推進、「住み続けられる」魅力あるまちづくり

**IV 輝く『まち』に ～「今治時間」のあるまちへ～**

瀬戸内の世界都市づくり、アート&カルチャー&スポーツで夢中になれるまちづくり、公共交通ネットワークの再構築、「しまなみ海道通行料実質無料化」対応の加速、地域コミュニティの活性化

**V しやなかで強靱な『まち』に**

安全・安心なまちづくり、「地域ディフェンス力」の強化、誰も取り残さない消防・救急体制の構築

## 令和8年度 当初予算の概要

会計別	令和8年度	令和7年度	増減	増減率
一般会計	853.0億円	813.0億円	+40.0億円	+4.9%
特別会計	401.6億円	401.8億円	△0.2億円	0.0%
企業会計	187.4億円	177.2億円	+10.2億円	+5.7%
合計	1,441.9億円	1,391.9億円	+50.0億円	+3.6%

# 01 会計別予算規模

(単位：千円、%)

会計名	年度	令和8年度 (A)	令和7年度 (B)	増減額 (C) = (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
	一般会計		85,300,000	81,300,000	4,000,000
特別 会計	用地取得	1,000	1,000	0	0.0
	墓園事業	47,200	51,700	△ 4,500	△ 8.7
	船舶交通	293,700	272,500	21,200	7.8
	港湾事業	417,000	444,000	△ 27,000	△ 6.1
	鉱泉供給事業	11,900	11,800	100	0.8
	駐車場	11,100	11,500	△ 400	△ 3.5
	国民健康保険	16,064,000	17,059,000	△ 995,000	△ 5.8
	後期高齢者医療	3,818,000	3,224,000	594,000	18.4
	介護保険	19,495,000	19,100,000	395,000	2.1
	小計	40,158,900	40,175,500	△ 16,600	0.0
企業 会計	水道事業会計	6,346,000	6,832,000	△ 486,000	△ 7.1
	簡易水道事業会計	152,600	153,600	△ 1,000	△ 0.7
	工業用水道事業会計	780,400	377,400	403,000	106.8
	下水道事業会計	11,457,000	10,356,000	1,101,000	10.6
	小計	18,736,000	17,719,000	1,017,000	5.7
合計		144,194,900	139,194,500	5,000,400	3.6

## 02 一般会計予算款別一覧表（歳入）

（単位：千円、％）

年度 款	令和8年度		令和7年度		増減額 C=A-B	増減率 (C)/(B)
	当初予算 (A)	構成比	当初予算 (B)	構成比		
01市税	24,073,000	28.2	22,063,700	27.1	2,009,300	9.1
02地方譲与税	544,000	0.6	566,000	0.7	△ 22,000	△ 3.9
03利子割交付金	60,000	0.1	24,000	0.0	36,000	150.0
04配当割交付金	165,000	0.2	119,000	0.1	46,000	38.7
05株式等譲渡所得割交付金	240,000	0.3	120,000	0.1	120,000	100.0
06法人事業税交付金	430,000	0.5	428,000	0.5	2,000	0.5
07地方消費税交付金	4,600,000	5.4	4,240,000	5.2	360,000	8.5
08ゴルフ場利用税交付金	22,000	0.0	22,000	0.0	0	0.0
09環境性能割交付金	100	0.0	60,000	0.1	△ 59,900	△ 99.8
10地方特例交付金	212,700	0.3	120,000	0.1	92,700	77.3
11地方交付税	17,300,000	20.3	18,770,000	23.1	△ 1,470,000	△ 7.8
12交通安全対策特別交付金	13,300	0.0	14,400	0.0	△ 1,100	△ 7.6
13分担金及び負担金	234,236	0.3	273,311	0.3	△ 39,075	△ 14.3
14使用料及び手数料	1,317,081	1.5	1,357,077	1.7	△ 39,996	△ 2.9
15国庫支出金	13,150,497	15.4	11,607,426	14.3	1,543,071	13.3
16県支出金	6,742,365	7.9	6,340,935	7.8	401,430	6.3
17財産収入	519,088	0.6	223,665	0.3	295,423	132.1
18寄附金	3,345,791	3.9	3,065,571	3.9	280,220	9.1
19繰入金	4,072,217	4.8	2,763,680	3.4	1,308,537	47.3
20繰越金	1,785,424	2.1	2,388,908	3.0	△ 603,484	△ 25.3
21諸収入	1,571,501	1.8	1,765,927	2.2	△ 194,426	△ 11.0
22市債	4,901,700	5.8	4,966,400	6.1	△ 64,700	△ 1.3
合計	85,300,000	100.0	81,300,000	100.0	4,000,000	4.9

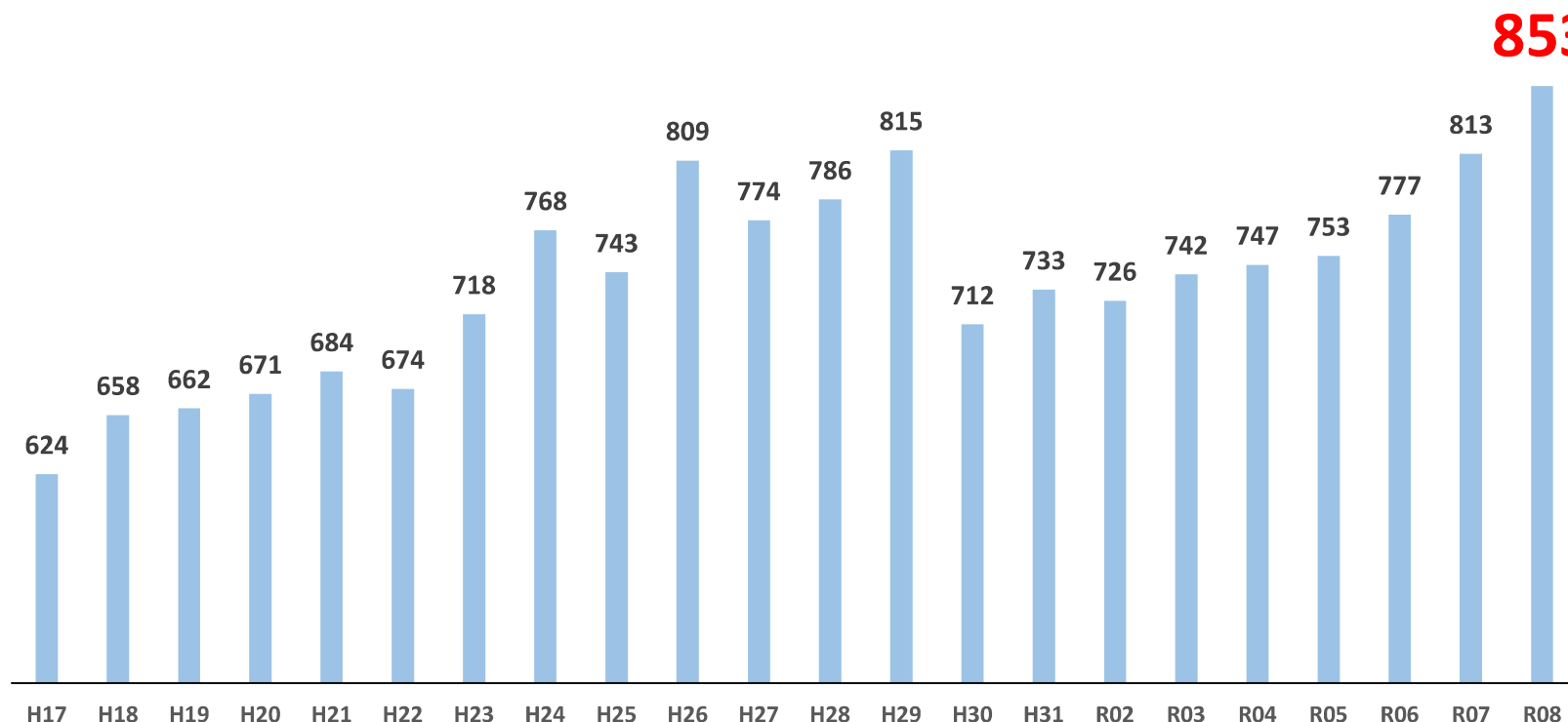
## 03 一般会計予算款別一覧表（歳出）

（単位：千円、％）

年度 款	令和8年度		令和7年度		増減額 (C) = (A) - (B)	増減率 (C)/(B)
	当初予算 (A)	構成比	当初予算 (B)	構成比		
1 議会費	420,970	0.5	403,827	0.5	17,143	4.2
2 総務費	9,789,618	11.5	8,186,138	10.1	1,603,480	19.6
3 民生費	33,812,489	39.6	32,447,056	39.9	1,365,433	4.2
4 衛生費	5,512,327	6.5	5,451,284	6.7	61,043	1.1
5 労働費	185,500	0.2	276,315	0.3	△ 90,815	△ 32.9
6 農林水産業費	2,364,392	2.8	2,392,390	2.9	△ 27,998	△ 1.2
7 商工費	4,191,442	4.9	3,625,644	4.5	565,798	15.6
8 土木費	8,939,174	10.5	8,532,389	10.5	406,785	4.8
9 消防費	4,209,033	4.9	3,614,748	4.4	594,285	16.4
10 教育費	9,511,123	11.2	9,487,025	11.7	24,098	0.3
11 災害復旧費	5,400	0.0	5,500	0.0	△ 100	△ 1.8
12 公債費	6,327,532	7.4	6,846,684	8.4	△ 519,152	△ 7.6
13 諸支出金	1,000	0.0	1,000	0.0	0	0.0
14 予備費	30,000	0.0	30,000	0.0	0	0.0
合計	85,300,000	100.0	81,300,000	100.0	4,000,000	4.9

## 一般会計当初予算規模の推移

(単位：億円)

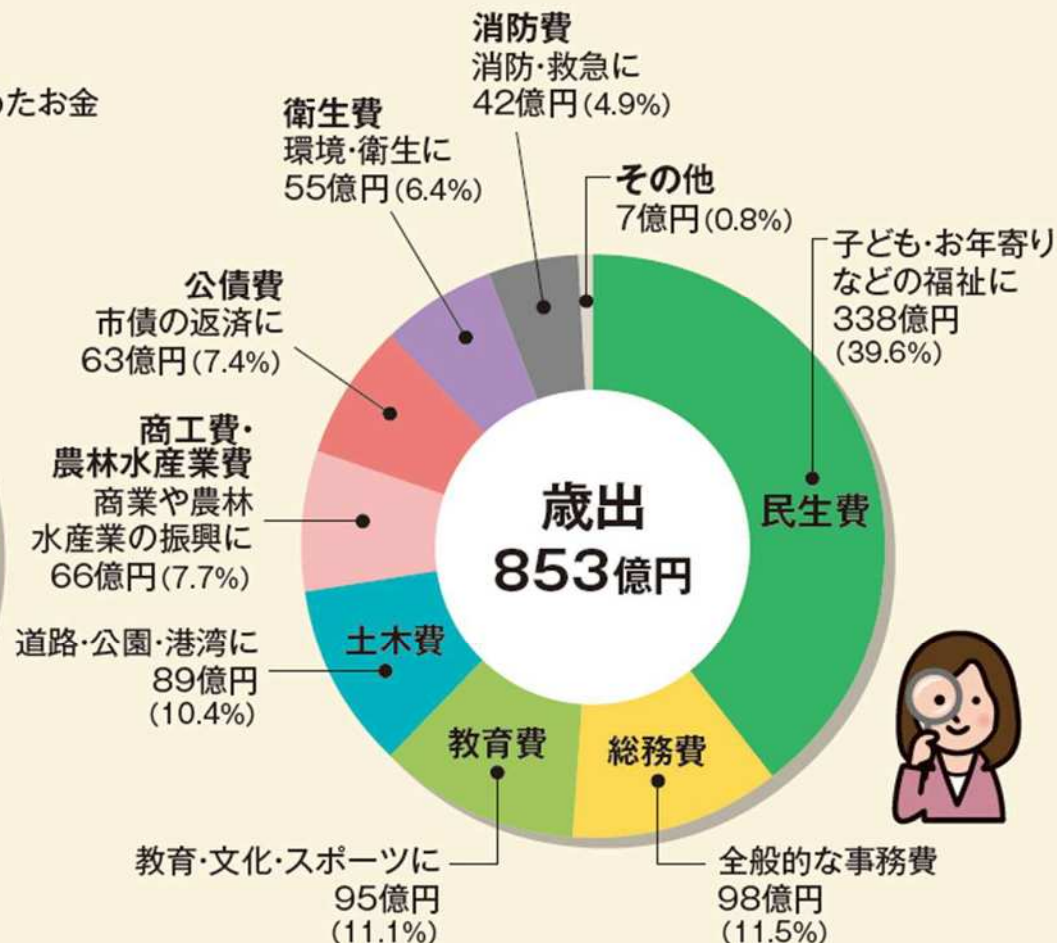
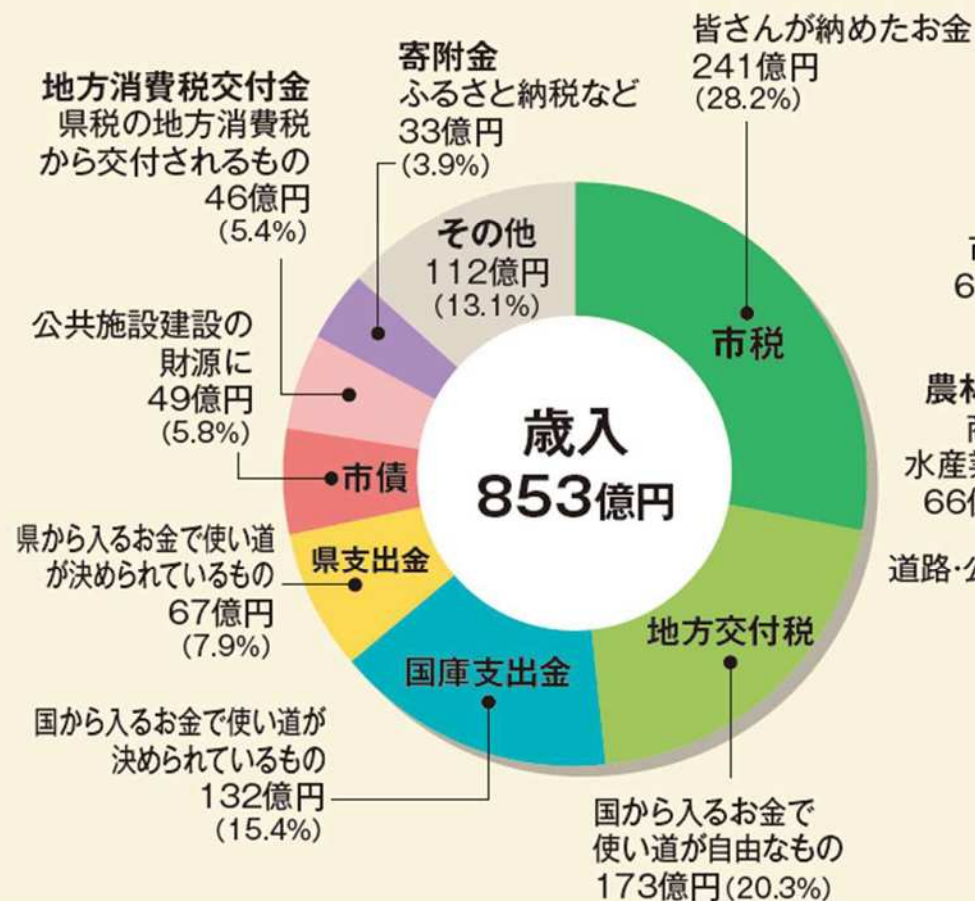


### 過去最大の大きさ

一般会計が過去最大となっている要因として、人件費、扶助費の上昇や、国の交付金を活用した物価高騰対策事業などに加え、学校等の空調整備や小学校の給食無償化といった教育費、防災・減災をはじめ新たな行政需要へ対応する経費が増加したことなどが挙げられます。

# 一般会計当初予算の内訳

## 一般会計の内訳



# <脱・衰退> 令和8年度当初予算の重点施策



- ◎新規施策
- 準新規施策
- ☆拡充施策

R8当初予算 85,300,000千円

## 直面する課題への対応

- <物価高騰対策>
- ◎1 給食費等の負担軽減等による子育て支援 89,789千円
  - ◎2 省エネ家電等普及促進等による家庭支援 204,524千円
  - ◎3 設備投資支援等による事業者支援 150,401千円
- 【R7年度3月補正】
- 1 指定管理施設燃料費高騰対応事業費補助金 36,655千円

## I 「考動する市役所」がある『まち』に

- <考動する市役所への進化>
- ☆4 デジタル活用の推進 66,381千円  
オンライン手続きの拡充、デジタル給付、共用車管理等
- <政策アンテナ・戦略的情報発信の強化>
- ◎6 市民参加型政策形成プラットフォーム構築事業 2,000千円
  - ☆7 「Z世代」「α世代」の声の政策反映に向けた取組 3,433千円
  - ☆8 広報戦略プロジェクトの推進 33,744千円  
広報戦略プロジェクト、わが街ポータル等
- <スマートシティ今治(デジタル化)の推進>
- ☆9 AIを活用したデジタル化の加速 86,664千円  
みらい行政AIラボ、ポケットークforスクール、  
庁内AIコンシェルジュ等

## II 人が元気になる『まち』に

~ひとりひとりが輝く今治の創出~

- <子育ての理想郷の実現>
- ☆10 安心して子どもを産み育てるための環境整備 285,439千円  
ネウボラ拠点施設整備、地域子育て支援拠点事業  
ウッドスタート事業、子どもの遊び場サテライト整備
  - ☆11 切れ目のない子育て支援 199,691千円  
婚活支援事業、妊婦・乳児健康診査、ファミサポ活動助成  
こども誰でも通園制度、病児保育事業、早朝一時預かり事業  
しまなみの子どもを育む交通費支援事業等
- <今治型学校教育(個別最適教育・先進グローバル教育)の推進>
- ☆13 英語力向上対策 330,001千円  
ALTの充実、イングリッシュキャンプ、英語力向上支援事業、  
保育施設イングリッシュティーチャー派遣等
  - ☆15 教育のデジタル化推進 58,051千円  
KIDSプログラミングコンテスト(仮称)、プログラミングキャンプ
  - ☆16 部活動の地域展開支援 5,577千円
  - 17 島しょ部高校魅力創造事業 23,818千円
- <教育環境の整備・充実>
- ☆18 教育環境の整備・充実 1,332,917千円  
特別教室・屋内運動場等の空調整備、校舎改修工事  
バリアフリー化改修工事、学校給食施設整備基本計画等
  - ◎20 学校給食費無償化支援事業等 431,877千円
  - ☆21 日本一おいしい学校給食づくり 3,055千円
  - ◎22 今治市立図書館開館100周年事業等 12,253千円
- <健康・医療・福祉都市づくり>
- ☆23 看護、介護、保育の人材確保定着制度 31,100千円
  - ◎24 がん検診の無償化 10,000千円
  - ◎26 難聴者補聴器購入費助成 2,400千円
- <共生社会の充実>
- ☆28 共に生きる社会づくりの推進 25,393千円  
多文化共生の推進加速、外国人生活相談体制の充実
- <「みなさと」戦略の展開>
- ☆29 「しまなみ・今治移住施策」の深化 69,644千円

## III 産業に活力を与える『まち』に

~瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進~

- <地域経済の「新しい成長」>
- 6 デジタルイノベーション加速化事業 ※3月補正 56,544千円
- <i.i.imabari!のパワーアップ>
- 9 i.i.imabari!ブランド推進事業 ※3月補正 34,747千円
- <産業のDX・GXの支援>
- 13 デジタル人材育成事業 ※3月補正 18,360千円
- <新・今治のみなとづくり・まちづくり>
- ☆35 中心市街地グランドデザインの推進 287,956千円  
ネウボラ拠点施設整備※10再掲 今治版MICE施設整備  
魅力都市創生事業、今治港内港物揚場改修事業
  - ◎36 持続可能な都市モビリティ計画(SUMP)策定 20,308千円
  - ◎37 国道317号(松山・今治)整備促進期成同盟会 1,000千円
- <強い農・林・水産業づくりの推進>
- ☆40 農産物鳥獣被害対策事業 83,010千円
  - ☆41 地域農業振興事業 31,541千円
  - 45 復旧・復興の森づくり事業 23,854千円
  - ◎46 全国植樹祭えひめ2026 4,166千円
- <「住み続けられる」魅力あるまちづくり>
- ◎49 「汝、星のごとく」プロモーション事業 7,000千円
  - ◎50 プレミアムインバウンドツアー造成事業 20,000千円
  - ☆53 今治港クルーズ船おもてなし事業 1,000千円
  - ☆54 鈍川温泉「ゆ」ノベーション推進事業 54,000千円
  - ☆55 亀老山展望公園整備事業 78,500千円

## IV 輝く『まち』に ~「今治時間」のあるまちへ~

- <瀬戸内の世界都市づくり>
- ◎56 今治版MICE施設の整備 ※35再掲 36,568千円
  - ◎57 愛媛大学今治サテライト設置等支援事業 501,231千円
  - ☆58 英語力向上対策 ※13再掲 330,001千円
- <アート&カルチャー&スポーツで夢中になれるまちづくり>
- ☆60 サイクルシティIMABARIのパワーアップ 340,027千円
  - ◎61 Velo-city2027機運醸成事業 25,200千円
  - ◎62 里山スタジアムを核としたにぎわい創出事業 30,500千円
  - 65 モルックアジア大会の開催 4,000千円
  - ☆69 世界のTANGE魅力創生事業 5,911千円
  - ◎72 「村上海賊」日本遺産認定10周年記念事業 9,326千円
- <公共交通ネットワークの再構築>
- ☆73 地域公共交通活性化事業 47,511千円
- <「ゼロカーボンシティ・今治」の推進>
- ☆74 脱炭素先行地域推進事業 277,780千円
  - ◎77 公共施設LED化推進事業 59,231千円
- <「しまなみ海道通行料実質無料化」対応の加速>
- ◎79 島しょ部通行料金助成事業 ※2再掲 87,000千円
  - ☆81 しまなみ海道の利用促進と通行料負担軽減 190,490千円
- <地域コミュニティの活性化>
- ☆82 今治みらい発掘プロジェクト事業 20,473千円
  - 83 地域担当職員活動事業 11,500千円

## V しなやかで強靱な『まち』に

- <安全・安心なまちづくり>
- ◎86 治水施設緊急整備事業 291,200千円
- <「地域ディフェンス力」の強化>
- ☆89 避難所環境改善事業 30,620千円
  - ☆91 防災土育事業 2,093千円
  - ☆92 防災訓練の実施 6,558千円
- <誰も取り残さない消防・救急体制の構築>
- ◎94 今治市林野火災を教訓とした防災力強化 34,868千円

令和8年3月定例市議会提案主要事業  
(令和8年度当初予算分)

(単位：千円)  
特定財源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

【一般会計】		85,300,000千円		
		※再掲除く		
直面する課題への対応		444,714千円		
＜物価高騰対策＞				
○	1 子育て世帯の負担軽減			
	(1) 給食費等支援			
	材料費高騰の影響を受ける保育所等の食事や小中学校等の給食について、その提供に必要な経費を国の交付金を活用して市が支援することで、保護者の子育てに係る負担の軽減を図りつつ、子どもたちの安心安全な食事を確保しようとするもの			
	①保育所給食等材料費高騰対応事業費 [保育幼稚園課]	23,000	国 臨時交付金	23,000
	ア 保育所給食等子育て応援事業費	8,000		
	保護者から徴収する副食費と国が定める公定価格（施設運営の基準となる価格）との差額を市が負担することで、保護者の負担軽減を図ろうとするもの			
	補助単価：一人あたり 1号認定：月320円 2・3号認定：月400円			
	イ 保育所給食等材料費高騰対応事業費	15,000		
	提供に実際に要している副食費と公定価格との差額を市が負担することで、保護者の負担を増大させることなく給食の質を確保するもの			
	補助単価：一人あたり 1号認定：月400円 2・3号認定：月500円			
	※ア、イ合わせて、最大で児童一人当たり年間で約1万円の負担軽減を見込む			
	②学校給食材料費高騰対応事業費 [学校給食課]	64,896	国 臨時交付金	64,896
	ア 学校給食子育て応援事業費	12,870		
	保護者から徴収する給食費の一部を市が負担することで、保護者の負担軽減を図ろうとするもの			
	補助単価：一食あたり 中学校：20円			
	イ 学校給食食材料費高騰対応事業費	52,026		
	提供に実際に要している給食費と市（小学校の場合は国）が設定する給食費との差額を市が負担することで、保護者の負担を増大させることなく給食の質を確保するもの			
	補助単価：一食あたり 小学校：実勢価格と国が定める基準額の差額 中学校等（しまなみ高校含む）：52円			
	※ア、イ合わせて、最大で小学生は一人当たり年間で約3千円（国の無償化施策を合わせると年間で約6万円）、中学生は一人当たり年間で約1万4千円の負担軽減を見込む			
◎	(2) ファミリー・サポート・センター提供会員活動助成事業 [こども未来課]	1,893	国 臨時交付金	1,893
	ファミリー・サポート・センター提供会員が行う援助活動に対し、市独自の活動費助成を行うことで、提供会員の安定的かつ持続可能な活動を支援しようとするもの			
	助成内容 提供会員が依頼会員から得る報酬とは別に、一時間あたり400円を公費で追加支給			
○	2 一般家庭の負担軽減			
	(1) 島しょ部通行料金助成事業 [しまなみ振興課]	87,000	国 臨時交付金	87,000
	日常生活におけるしまなみ海道通行料金の恒常的な負担に加え、物価高騰により更なる負担を伴う島しょ部地域の住民に対し、令和8年度に限り国の交付金を活用し、しまなみ海道利用に係るアンケートの協力世帯を対象に、島しょ部地域内の店舗で日用品等の購入に使用可能なクーポン券を配布しようとするもの			
	対象者 島しょ部地域（大島、伯方島、大三島、関前）に居住する世帯主			
	助成額 クーポン券1世帯あたり1万円分（@500円×20枚）			
◎	(2) 省エネ家電等普及促進事業費 [環境政策課]	92,524	国 臨時交付金	92,524
	物価高騰の影響を受ける家計の負担軽減を図るため、対象となるエアコンやLED照明器具を購入した市民に対して、その購入金額に応じた電子マネーを給付し、省エネ家電等の買い替えを促進することで併せて脱炭素化を推進しようとするもの			
	①対象商品：エアコン・LED照明器具（統一省エネラベル 2つ星以上）			
	※LED照明器具については、複数購入で基準額を超えたものが対象			
	②電子マネー給付額	75,000		
	購入金額40,000円以上120,000円未満の場合 15,000円相当			
	購入金額120,000円以上の場合 30,000円相当			
	③事務費（人件費、電子マネー手数料等）	17,524		

(単位：千円)

特定財源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

○	(3) ゼロカーボンシティ事業費 [環境政策課] 物価高騰等により、家計の負担が増大し続けている中、太陽光発電設備の導入を国の交付金を活用し臨時的に支援することで、電気代による負担を軽減し、家庭におけるエネルギー使用量の削減を図るもの 補助対象者 市内全地域の一般住宅 補助率 1/2 (上限500千円) 補助対象経費 太陽光発電設備又はソーラーカーポート	25,000	国 臨時交付金	25,000
<b>3 事業者の負担軽減</b>				
◎	(1) 経営力強化伴走支援事業 [産業振興課] 市内企業の持続的な競争力強化を図り、賃上げ環境を整備するため、業種ごとの課題を分析して市の施策に反映するとともに、各業種の企業に対して伴走型の個別支援を行うもの 対象者 市内の中小企業、個人事業主 対象業種(想定) ①タオル産業 ②建設業 ③食品関連産業 ④観光業 ⑤農林水産業 事業内容 各業界全体の課題抽出及び解決策の整理・報告 分析結果に基づいた各社への伴走支援	15,000	国 臨時交付金	15,000
◎	(2) 物価高騰対応DX・GX緊急対策事業 [産業振興課] エネルギー価格高騰に直面する中小企業に対し、DX・AIを活用した設備投資や省エネ投資を支援し、生産性向上とコスト削減を実現するとともに、創出された原資を賃上げや次世代投資に還流させ、物価高騰に負けない強靱で競争力のある経営基盤の強化を図るもの 対象者 市内に事業所を有する中小企業 条件 1人あたり平均2.5%以上の賃上げを行う事業者 (従業員20名以下の場合は、賃上げ平均1.5%以上) 補助率 1/2 (補助上限額10,000千円)	100,201	国 臨時交付金	100,201
☆	(3) 地域特産物振興対策関係支援事業 [農林水産課] 国・県事業の対象とならない小規模な簡易ハウス及び付帯設備等の整備を支援することで、農産物の生産量の拡大、製品価値の向上を図るもの 実施主体 農業協同組合、3戸以上の農業者団体 補助率 市1/2 (R8年度拡充内容) ①湯水対策として「井戸の調査・掘削」に対する支援 ②「中古ビニールハウス」のリノベーション支援	12,000	国 臨時交付金	12,000
◎	(4) 高温化対策支援事業 [農林水産課] ①農業高温化対策支援事業 近年の高温化への対策として遮光ネットの導入を支援することで、農業者の負担を軽減し、農作物の生産量の安定化を図るもの ※R7年度に実施した高温対策実証事業の結果を踏まえたもの 実施主体 資材販売事業者 対象経費 遮光ネット 補助率 1/2 (1農業者あたり上限200千円) 事業費 200千円/人×15人=3,000千円	3,000	国 臨時交付金	3,000
◎	②水産業高温化対策支援事業 近年の高温化で活魚のへい死や施肥量の増加が進んでいるため、鮮度保持を目的に、生け簀への直射日光を防ぐ漁船用テントや老朽化した保冷箱の導入を支援するもの 実施主体 漁業協同組合正組合員 対象経費 漁船用テント、漁船用保冷箱 補助率 1/2 (1漁業者あたり上限50千円) 事業費 50千円/人×70人=3,500千円	3,500	国 臨時交付金	3,500
◎	(5) タクシー地域アプリ導入等支援事業費補助金 [地域振興課] タクシー共同配車アプリの導入を支援することで、タクシードライバーの高齢化や人材不足などによるタクシーの供給不足といった課題を解決し、業界の効率化やサービスの充実を図ろうとするもの	16,700	国 臨時交付金	16,700

**I 「考動する市役所」がある『まち』に**

194,606千円

## &lt;考動する市役所への進化&gt;

**4 デジタル活用の推進**

デジタル技術を活用した行政運営の効率化や市民の利便性向上、地域の課題解決に向けた取組み等を推進しようとするもの

	[市民の利便性向上]			
	(1) 本庁・支所間オンライン相談窓口 [未来デジタル課]	2,460		
	各支所と本庁担当課間のオンライン相談体制を確保し、市民が利用しやすい環境を整え、利便性向上を図ろうとするもの 設置箇所 11支所・本庁14課			
◎	(2) オンライン手続きの拡充等 [未来デジタル課]	4,290		
	手のひら市役所などオンライン手続きの利活用拡充に向けた環境整備			
	ア 電子申請ポータルサイト構築 110 電子申請・施設予約・電子図書館など、市民が利用可能なオンラインサービスメニューを集約したポータルサイトを市ホームページ上に構築しようとするもの			
	イ サービス利用のサポート自動化ツール 4,180 PC画面上での操作を自動でスライド化することができるツールを導入し、電子申請サービスにおける操作手順マニュアルを作成するなど、市民サービスの向上や日常業務の省力化・効率化に活用しようとするもの			
	(3) 書かない窓口（デジタル窓口システム） [市民課]	2,593		
	転出・転入・転居の異動等について、職員がシステム上で来庁した市民と一緒に確認しながら住民異動届を作成することで、何度も同じ内容を書く必要がないよう住民負担の軽減に寄与するもの			
	(4) 住民窓口の多様化モデル事業 [未来デジタル課・市民参画課]	12,822		
	住民がアクセスしやすい場所まで行政サービスを届ける「移動市役所」と申請ナビ端末を用いた「行かない窓口」「書かない窓口」の運営			
	(5) 多言語翻訳ディスプレイによる相談窓口 [未来デジタル課]	624		
	透明ディスプレイ上に翻訳内容を字幕でリアルタイム表示し、「相手の顔」と「字幕」の両方を有効視野に入れることで、多様な方に均一な行政サービスを提供しようとするもの 対応言語 13言語（英語・中国語・韓国語・ベトナム語・フィリピン語など）			
◎	(6) 庁内案内デジタルサイネージの導入 [未来デジタル課]	2,884	市債	2,200
	設置予定箇所 本庁第1・2別館エレベーター付近、 市民が真ん中相談センター付近の計3箇所			
☆	(7) デジタル給付事業 [i.i.imabari]推進課]	25,473		
	補助金やボランティア活動に対するインセンティブ付与などについて、市内限定での利用が可能なデジタル給付を活用することで、市民の利便性の向上と地域経済循環の促進を図ろうとするもの (実施予定事業)			
	・ こどもが真ん中応援券 [こども未来課]			
	・ 特定健診、つるかめ健診受診勧奨 [保険年金課]			
	・ 健康づくり応援ポイント [健康推進課・保険年金課]			
	・ ねんりんピック全国大会出場表彰、社会福祉大会市長表彰、中学生弁論大会参加賞、ことぶき大学記念品 [福祉政策課]			
	・ 海岸清掃ボランティア [環境政策課]			
	・ サイクリングしまなみ2026参加者へのおもてなし [サイクルシティ推進課]			
	・ いまばりジュニアマイスター賞表彰 [産業振興課・海事都市今治推進課]			
	・ 令和7年今治市林野火災復旧・復興ボランティア植樹 [農林水産課]			
	[行政運営の効率化]			
	(8) DX人材育成研修 [人事課]	792		
	市民サービス向上を目的としたデジタルツールの活用を促進するため、職員の意識改革及び課題解決に取り組む実践的なDX人材育成研修を実施 内容 管理職から若手職員までの混合チームで課題解決型学習に取り組み、行政サービスやデジタルツール活用のボトルネック解消に有効な考え方や手法を学び、庁内で横展開を行うもの			
☆	(9) DXリテラシー研修 [未来デジタル課]	2,384		
	DXマインドセットの醸成を図りながら、業務効率化を目的としたデジタルツール及びAIの活用を促進するため、職員向けの研修を実施 内容 高度人材シェアリング事業 生成AIワークショップ研修、ハンズオン研修 kintone操作研修			
◎	(10) 共用車管理システム [総務調整課]	1,184		
	共用車管理をデジタルで一元化することで、予約・鍵管理・日報作成等の手作業を廃止し業務効率化等を図るもの。併せて、稼働実績の可視化により、共用車稼働の平準化を図り長寿命化・適正管理を行うもの			

(11) 各種DXツールの活用 [未来デジタル課]  
kintone、プラグイン、ペーパーレス会議システム、LoGoチャット等の活用による  
行政事務のスマート化を推進。職員による内製化を図りつつ業務効率化を実施

10,875

★ 5 地域おこし協力隊の支援

都市部等から本市に移住し、各種地域協力活動に従事しながら、本市への定住・  
定着を目指す「地域おこし協力隊」の活動を支援するもの 148,711

R8年度活動予定隊員 27名 (1年目 10名、2年目 9名、3年目 8名)

- ①地域協力型 10名
- ②移住コーディネーター業務 2名
- ③参加支援・生活困窮者のための地域づくり業務 2名
- ④こどもの居場所づくり業務 2名
- ⑤観光振興業務 2名
- ⑥文化振興業務 1名
- ⑦村上海賊魅力業務 1名
- ⑧スポーツ振興業務 1名
- ⑨お供馬イベント企画業務 1名
- ⑩森林整備業務 1名
- ⑪地域産業デジタルイノベーション加速化業務 3名
- ⑫農業支援企画業務 1名

<政策アンテナ・戦略的情報発信の強化>

◎ 6 市民参加型政策形成プラットフォーム構築事業 [市民が真ん中課]

2,000

複雑化・多様化する地域課題に対応するため、世代や分野を超えて、市民などか  
ら提案やアイデアなどを収集し、政策立案に結び付けるプラットフォームを構築  
することで、これからの今治にとってより良い未来を切り開こうとするもの

(1) 政策アイデア募集ステージ

イマバリ未来デザイン・ノミネート会議

以下の事業等から提案されたアイデア等を整理・分析し、選抜ステージへ繋  
げようとするもの

[アイデア提案が想定される事業]

- ①市職員フロンティアステージ事業 [市民が真ん中課]
- ②いまここ青春祭2026 [地域振興課]
- ③市公認探究部等の魅力発掘探究 [地域振興課]
- ④FCI里山研究ゼミなどの各教育機関独自の課題研究プログラム [各課]
- ⑤ふるさとキャリア教育 [学校教育課]
- ⑥SDGsまちづくりプロジェクト・サステナブル研究活動支援 [市民が真ん中課]  
等

(2) 選抜ステージ

イマバリ未来デザイン・アワード

主にZ世代・α世代の若者などから政策アイデアを広く募集するとともに、  
(1)のノミネート会議の提案を含めた全提案の中から、優れた提案の選抜  
・顕彰を行う。

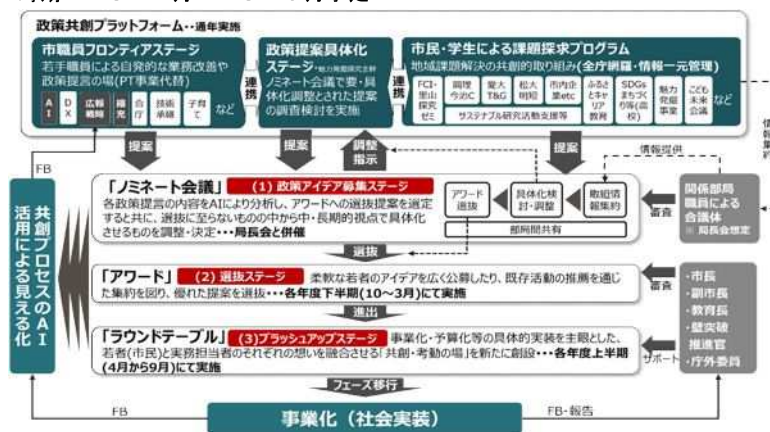
時期 (募集) : R8. 10月~R9. 3月予定

(3) ブラッシュアップステージ

イマバリ未来デザイン・ラウンドテーブル

前年度に実施したイマバリ未来デザイン・アワードにおいて選抜された提案  
について、市の関係部局と提案者、外部有識者が一緒になって協議し、事業  
化・予算化に向けた検討を行う。

時期 : R8. 4月~R8. 9月予定



7	「Z世代」「α世代」の声の政策反映に向けた取組	300		
◎	<p>(1) 市職員フロンティアステージ事業〔市民が真ん中課〕 若手職員の「考動」を活性化させるとともに、政策立案や業務改善につなげることを目的として、職員が個人又はチームで自発的に行う研究活動を支援しようとするもの 対象事業 業務改善や政策提言の研究に要する経費 補助上限 1チームあたり100千円</p>	300		
	<p>(2) こどもみらい会議〔こども未来課〕 市内の学生団体「たねからゼミ」と連携して「こどもみらい会議」を開催することで、これからの未来を担う子どもたちが身近な疑問や発見を持ち寄って、将来の今治市について楽しく、自由に発想・議論・意見表明する機会を創出するもの 対象 市内の小中学生30人程度</p>	833		
	<p>(3) SDGsまちづくりプロジェクト〔市民が真ん中課〕 市内高校生を対象にSDGsの視点からまちづくりやまちの将来について考え、未来へのアイデアを提案するワークショップを実施する</p>	500		
	<p>(4) サステナブル研究活動支援〔市民が真ん中課〕 SDGsを推進する団体等が本市の地域課題解決に資する活動に取り組む場合にその活動経費の一部を支援しようとするもの 対象 市内の高校および高等教育機関、中小企業、民間団体等 1件当たり100千円</p>	1,800		
8	広報戦略プロジェクトの推進			
○	<p>(1) 広報戦略プロジェクト〔秘書広報課〕 令和6年度からスタートした広報戦略プロジェクトをさらに進化させ、庁内の広報司令塔としての機能を強化するとともに、「AI攻略」×「市民共創」をキーワードとした新戦略を定め、「日本一の広報」を目指した広報・情報発信の充実を図ろうとするもの ①広報戦略会議による「統合広報オペレーション」の実現 広報戦略室が司令塔となるオペレーションを構築し、情報集約から発信・その後の効果分析を踏まえた改善までを行うことで質の高い広報を目指す ②AI時代に対応したAIアルゴリズム攻略による拡散力強化 膨大なデータの中から各ユーザーに最適化されたコンテンツを自動的に選別・推奨するAIアルゴリズムを駆使して様々なターゲットに対して、個別最適な刺さる広報を展開する ③市民と共に発信する「市民共創広報」への転換 SNS等において、複数のアカウントやプラットフォームを横断した「多地点同時発信」による発信力強化に向け、市内の発信力が高いアカウントと相互連携しながら市民や市外の今治ファンとともに発信する体制を構築する (参考) これまでの主な取組みと実績 ア 情報スキルの向上(PTIMESの活用とSNSの強化) ・PTIMES発信件数 36回(1月末時点) 広告換算値 27,928,500円(事業費の297%) ・Xフォロワー数 約14,600人(1月末時点) ※R7.4月から約2倍 イ 庁内横断の情報収集と最適な広報媒体による情報発信 ・各部署の広報責任者で構成される広報戦略PTを設置して定例MTGを開催し、発信すべき案件の集約と最適な広報媒体を個別調整する体制を構築・運用</p>	3,947		
	<p>(2) 市政広報テレビ番組制作・放送〔秘書広報課・議会総務課〕 市政、観光、産業、イベント、スポーツ、議会などの情報発信 民間放送：毎週2回(通常・再放送各1回 5分程度) CATV：市政ハイライト動画、市長記者会見動画制作(随時放送) 取材した市関連事業を、自主制作番組やニュースで年60本程度放送 市議会定例会放送(本会議を生中継、YouTubeでも視聴可)</p>	27,797		
◎	<p>(3) わが街ポータルへの導入〔秘書広報課〕 官民間問わず、地域の祭りやイベント、ボランティアスタッフの募集など、様々な情報や話題を発信することができる特設サイトを開設し、シティプロモーションの強化を図ろうとするもの サイト公開日 令和8年7月1日(予定)</p>	ゼロ予算		
◎	<p>(4) 生成AIを活用した暮らしの情報整理・発信〔市民が真ん中課〕 生成AIを活用し、暮らしに関する各種指標の整理・可視化を行い、移住施策や雇用施策等への活用を図ろうとするもの</p>	2,000	県1/2	1,000

## ＜スマートシティ今治（デジタル化）の推進＞

## 9 AIを活用した行政・生活・産業のデジタル化の加速

「AIフル活用検討チーム」を発足し、行政・生活・産業のあらゆる分野においてAIの活用を進め、住民サービスの質の向上や業務の高度化・効率化等を力強く推進し、スマートシティ今治の深化を図ろうとするもの。

[生活分野]

(1) 生成AI接客アバターを活用した総合窓口案内 [未来デジタル課] 5,808  
本庁ロビーのデジタルサイネージを活用し、多言語対応可能なアバターによる窓口・案内サービスを提供しようとするもの

(2) 生成AIチャットボットの運用 [未来デジタル課] 5,808  
生成AIチャットボットを活用し、ホームページを通じた市民からの問い合わせに24時間365日対応しようとするもの

(3) AIを活用した道路損傷検知システム [道路課] 1,991  
検針等で市内を巡回する機会の多い市内ガス会社と連携して、その社用車が市道を通行した際の画像データを取得し、AIを活用した画像分析を行うことで、市道の異常を早期に検知し、効率的な舗装修繕に繋げ、良好な道路環境を確保しようとするもの

[教育分野]

(4) 学習支援・ドリルソフト等の導入 [学校教育課] 30,223  
ドリルソフトや学習アプリのAI機能を活用し、子どもたちの学習意欲の向上を図るとともに、個別最適な学習を実現するもの

◎ (5) ポケットーク for スクールの導入 [学校教育課] 672  
外国人生徒に対するきめ細かな支援を図るため、先生の発言した言語を同時通訳し、タブレット上に表示することができるAIサービスを導入しようとするもの  
(最大75言語対応)

[公共交通分野]

(6) 伯方島公共ライドシェア実証運行支援 [地域振興課] 8,000 国 臨時交付金 8,000  
伯方島住民等の移動を支えるmobiシステム（AIを利用した最適な乗り合わせルートや配車システム）を利用した公共ライドシェア・貨客混載の実証運行を支援  
実施主体：伯方島モビリティコンソーシアム

(7) チョイソコおおみしま運行業務 [地域振興課] 9,914  
大三島の対象区域内での移動を可能にするチョイソコシステム（AIを利用した最適な乗り合わせルートや配車システム）を利用した移動サービスを実施  
実施主体：今治市公共交通活性化協議会

[行政分野]

◎ (8) みらい行政AIラボの設置 [未来デジタル課] 1,000  
AI活用の更なる高度化を図るため、AIフル活用プロジェクトとして庁内横断AIフル活用検討チームを設置。業務への既存AIツールの活用はもとより、新たなAI技術の活用や先進事例の導入についての実証・検証・運用基盤の整備に取り組む

(9) 生成AIツールの活用による業務の高度化 [未来デジタル課] 3,061  
情報収集・分析等への生成AIの活用を推進し、政策立案・意思決定の質的向上を図ろうとするもの

◎ (10) 庁内AIコンシェルジュの構築・運用 [未来デジタル課] 3,230  
規則やマニュアルなどを読み込ませることで、業務をサポートするAIアシスタントを作成することのできるツールを導入し、日々の業務の効率化と市民サービス提供の迅速化を図ろうとするもの

◎ (11) 生成AIを活用した暮らしの情報整理・発信 [市民が真ん中課] 2,000 県1/2 1,000  
※8(4)再掲

(12) RPA・AI-OCRの活用 [未来デジタル課] 10,865  
RPA・AI-OCRの活用により、手作業で行っていた書類のデータ入力や定型業務を自動化し、人為的なミスの削減と処理時間の短縮を図ろうとするもの  
※RPA：コンピュータを使った定型的な作業を自動化する技術  
ソフトウェアによって職員が行っていた作業を代行  
※AI-OCR：書類や画像内の文字情報をデジタルデータに変換する技術

(13) AI音声認識議事録作成支援 [未来デジタル課] 1,056  
AIを活用した議事録作成サービスを導入し、議事録作成にかかる時間を大幅に削減しようとするもの

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

★ (14) DXリテラシー研修 [未来デジタル課] ※4 (9) 再掲 2,384

(15) AI水位予測システム [農業土木課] 3,036

実際の水位と気象データからAIが1時間後の水位を予測し、市職員に通知するシステムを導入することにより、経験によらない対応を可能とするもの

<導入地区>

令和6年度 鳥生地区

令和7年度 桜井地区

II 人が元気になる『まち』に ~ひとりひとりが輝く今治の創出~ 3,319,677千円

<子育ての理想郷の実現>

10 誰もが安心して子どもを産み育てることのできる環境整備

◎ (1) ネウボラ拠点施設整備事業 [ネウボラ政策課] 5,058

「つどい つながり はぐくむ みんなの居場所~こどもが輝く未来を創る~」を基本理念に、妊娠期から出産・子育て期に至るまで、切れ目のない支援を提供する今治版ネウボラのランドマークとして、また、新たな中心市街地活性化のリーディングプロジェクトとして、子育て世代のみならず、中高生や多世代が利用し交流する拠点施設を整備しようとするもの。

全体事業費 9,087,000千円 (R8年度~R26年度)

積算内訳 施設整備費7,502,000千円

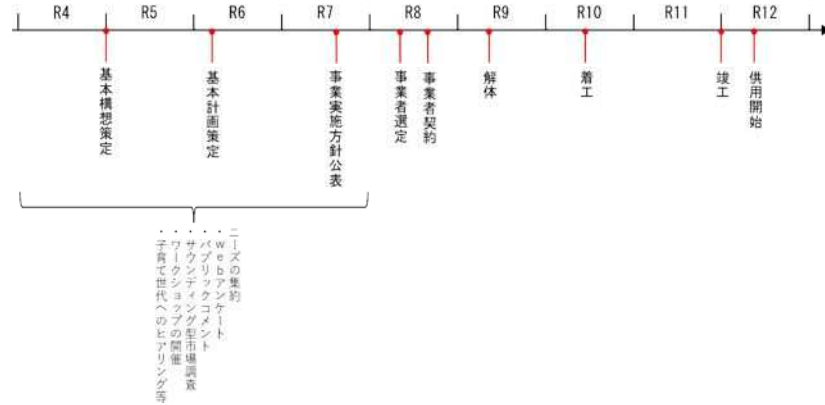
維持管理費1,585,000千円

内訳：R8 5,058千円

R9~R26 9,081,942千円<債務負担行為予算 (R8~R26)>

事業方式：DBO方式 (設計・建設・運営一括発注)

<スケジュール (予定)>



(ふるさと納税重点活用事業)		
国1/2		1,350
市債		1,200
繰入金		2,508

★ (2) 地域子育て支援拠点事業 [こども未来課] 95,447

市内11か所に配置する子育て支援拠点施設において、子育て中の親子交流の場を提供するとともに、育児相談、子育てに役立つ情報提供等を行うことで、子育てする親の不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援しようとするもの

(R8変更内容)

現在、(公財)今治市シルバー人材センターに委託して喜田村地区において運営する「にこにこ広場おおきなあれ」を令和8年10月より同地域内の別の場所に移転する予定

移設費 2,342

国1/3		31,100
県1/3		31,100

(3) 児童育成支援拠点事業 [こども未来課]  
養育環境に課題を抱える児童に対し、安心して過ごすことができる居場所を確保するとともに、生活習慣の形成や学習支援、相談支援等を通じて、個々の状況に応じた継続的な支援を行い、児童の健全な育成を図るもの

★ ①児童育成支援拠点事業 27,811

支援を必要とする児童の身近な地域における受け皿の充実を図るため、実施施設を拡充する。

既存施設 鳥生地域食堂れんこん「みんなの食堂」

創作クラブGrian「鎮守の杜」

新規施設 チャレンジ「いまりば」

山路白鳩福祉会 (R9年度より新規施設にて実施予定)

国1/3		9,270
県1/3		9,270

◎ ②次世代育成支援対策施設整備費 16,122

児童育成支援拠点事業の円滑な実施に向け、拠点として必要な機能を備えた施設整備を支援するもの

補助対象者 山路白鳩福祉会

国1/2		10,748
------	--	--------

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

◎	(4) ウッドスタート事業 ①木育体験事業[ネウボラ政策課] 官民が連携して、令和8年春に開設する「しまなみ木のおもちゃ美術館」を木育の拠点とし、子どもたちに小さい頃から地域の伝統文化や地域の木材に触れる機会を提供しようとするもの。 内容 しまなみ木のおもちゃ美術館の半年パスポートを1歳半健診を受診する児童に配布 対象者数 約700人 ②「おもちゃ学芸員」応援事業[ネウボラ政策課] おもちゃ美術館の運営に参画する「おもちゃ学芸員」に対し、オリジナルエプロンを贈呈しようとするもの ③ウッドスタート事業[農林水産課] 令和8年4月1日以降誕生の乳幼児を対象に、今治市オリジナル品を制作し、誕生祝い品を贈呈するもの 祝い品：木のおもちゃ、トートバック	2,000 400 9,527	県1/2	4,763
◎	(5) こ(子×木)育て住空間よむらプロジェクト[建築住宅課] 誰もが安心して子どもを育てることができる環境づくりを進めるため、四村団地内に、住宅に困窮する子育て世帯を対象に、間取りや設備等、子育てに配慮した仕様の公営住宅を新たに整備しようとするもの。併せて、県内初となる木造3階建て構造とすることで環境にも配慮した公営住宅の整備を目指すもの。 (四村団地7号棟) 構 造：木造3階建て(18戸) 工 期：R8年度～R10年度予定(R10.10月入居募集開始予定) R8内容：設計(R8～R9) <債務負担行為予算>19,600千円(R8～R9)	8,400	国5/10 市債	4,200 4,200
◎	(6) 子どもの遊び場サテライト整備事業[公園緑地課] 今治版ネウボラの遊び場サテライトの充実のため、老朽化した公園遊具等の更新・修繕を行い、安心して安全な遊び場環境を子どもたちに提供するもの ①しまなみアースランド・ふわふわドーム修繕 33,600 ②玉川総合公園・遊具更新 29,000 ③桜井総合公園 外5件 38,400	101,000	国5/10 市債	20,500 57,600
◎	(7) おおしま認定こども園改修事業[保育幼稚園課] 吉海認定こども園と宮窪認定こども園を統合することに伴い必要となる施設の改修を行い、子どもたちが安心して過ごすことができる環境を確保しようとするもの 2階乳児室及び遊戯室の床改修、2階テラス人工芝の敷設工事等	12,000	市債	12,000
☆	(8) 保育環境向上等事業[保育幼稚園課] 近年の猛暑等による熱中症リスクの増大や、保育現場における子どもの安全確保を巡る課題に対応するため、保育施設における熱中症対策及び安全対策等の環境整備を支援し、子どもが安全・安心に過ごせる保育環境の向上を図る ①熱中症対策事業 補助対象 冷房設備の設置・更新経費 補助金額 1施設当たりの上限金額1,029千円 ②安全対策事業 補助対象 保育の実践記録等を行うためのカメラの設置等経費 補助金額 1施設当たりの上限金額100千円	6,474	国1/3・2/3 県1/3	2,258 2,058
☆	(9) こども食堂支援事業[こども未来課] ①市内企業連携フードドライブ事業 包括連携協定を締結している事業所と協働してフードドライブを実施することで、官民連携による地域全体の子育て支援の拡充を図るもの ②子ども食堂応援事業費補助金 補助対象者 子ども食堂を運営する者 補助対象経費 開設経費もしくは運営経費 補 助 率 補助対象経費の2/3(上限100千円) 加 算 こども食堂の実施に加え、子どもの学習支援を実施した場合に最大50千円を加算(令和8年度拡充部分) ③フードドライブ常設コーナーの設置 市役所本庁および各支所にフードドライブ常設コーナーを設置し、集まった食品を活用してこども食堂への支援を行うもの	200 1,000	国2/3	666
		ゼロ予算		

(単位：千円)

特定財源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

		(ふるさと納税重点活用事業)	
11	<b>結婚から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援</b>		
★	(1) いまバディ(仮) 婚活支援事業 [こども未来課] 市の地域資源を活用した気軽に参加できる出会いの機会・場の提供によって、結婚を希望する者の新たなマッチングの可能性を創出することで、未婚化・晩婚化を食い止め、将来的な出生率の向上につなげるもの		
	① 家族を作ろうサポート事業 専門的な知識をもつ事業者との協働によって結婚を希望する若い世代の出会いの創出 ア 結婚等に関する講座の開催(年1回) イ マッチングイベント(年3回) ウ 「愛結び」(AIを活用した会員制のマッチングシステム)登録・閲覧会場の開設(月3回)	2,340	国2/3 1,500
	② 出会い交流応援事業 趣味等をきっかけにしたマッチングイベント等の開催により気の合う方との出会いを創出するとともにセンスアップ講座などを実施	1,300	県1/2 650
	③ 婚活イベント振興事業 市内企業が開催する婚活イベントに対し、開催に要する経費の一部を補助することにより、出会いの機会の創出を支援し、その活性化を図るもの。 補助対象者 えひめ結婚支援センターの応援企業に登録している今治市の団体 助成金額 イベント参加人数×1,000円	150	県1/2 75
★	(2) 妊婦・乳児健康診査 [ネウボラ政策課] 母子保健法に基づく妊婦・乳児健康診査の実施。令和8年度から新たに「1か月乳児健診」を実施し、産後早期からの切れ目のない支援の強化を図る。	95,533	国1/2 5,952 県1/2 3,500
◎	(3) ファミリー・サポート・センター提供会員活動助成事業 [こども未来課] ※1(2)再掲	1,893	国 臨時交付金 1,893
◎	(4) 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度) [保育幼稚園課] ① 乳児等通園支援事業 保護者の就労要件を問うことなく、月一定時間までの柔軟な通園を可能にすることで、こどもの良質な成育環境を充実するとともに、全ての子育て家庭への支援を強化しようとするもの 対象者 生後6か月～2歳の未就園児 利用上限 1人あたり月10時間 実施施設 7施設(認定こども園3・保育所2・地域型保育施設1・幼稚園1)	2,963	県7/8 2,592
	② 乳児等通園支援事業費補助金 乳児等通園支援事業を初めて利用する保護者に対し、最初の1月分の自己負担額を補助することで、制度の利用拡大を図ろうとするもの 補助限度額 3,000円(子ども1人あたり300円/回、10時間以内)	120	県1/2 60
★	(5) 病児保育事業 [保育幼稚園課] 保護者の勤務等の都合により入院を必要としない程度の病気の児童や回復期にある児童を家庭で保育、看護できない場合に、専門施設で一時的に保育を行うもの	60,434	国1/3 18,683 県1/3 18,683
	① 病児対応型 22,164 通院で治療が行える程度の病児を病院等に併設の専用施設で一時的に保育するもの 委託先 あおい小児科(キッズケア・青い鳥) 対象者 保護者が就労している児童(市内居住の生後6か月～小学生)		
	② 体調不良児対応型 27,200 保育施設において通園児が体調不良等の際に、保護者が迎えに来るまで園の看護師が専用スペースで看護等を行うもの 市内8施設にて実施		
	③ 病後児対応型 6,686 病気の回復期にあり集団保育が困難な児童を、専用の施設等で一時的に保育するもの 委託先 学校法人波止浜虎岳学園(はしまこがく認定こども園 隣接地) 対象者 保護者が就労している児童(市内居住の満1歳～小学生)		
	④ 事業安定運営支援 4,384 病児保育事業について、人件費や運営経費の増加に対応するため、市単独予算により委託事業者への経費加算支援を行い、事業の継続性と安定的な運営体制の確保を図るもの		
★	(6) イングリッシュティーチャー派遣事業 [保育幼稚園課] ALTを市内の保育所に派遣し、子どもが生の英語に触れあう機会を創出しようとするもの 対象施設 私立を含めた全保育施設 ※私立保育所も対象に追加 実施回数 1施設あたり年2回程度 ※ALTの増加に伴い令和7年度から倍増	913	

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

★	(7) 早朝一時預かり事業 [こども未来課] 土曜日と学校の長期休業中に、児童クラブ開始前の時間帯の児童預かりを行うこと とで、子育て家庭の負担軽減を図ろうとするもの 実施施設 2～3か所(利用施設の見直し・拡充)※R7は枝堀児童館で実施 実施期間 土曜日、長期休暇(春、夏、冬)7時～9時頃 ※各児童クラブへの送迎は「ファミリーサポートセンター」事業を利用可	2,749		
★	(8) しまなみの子どもを育む交通費支援事業 島しょ部(大島・伯方島・大三島・関前地域)に居住する方を対象に、子育てや 通学等でしまなみ海道を利用することにより生じる経済的負担を軽減するための 交通費支援を行うもの ①子育て世帯に対する交通費支援 [しまなみ振興課] 対象者 島しょ部に居住し、同一世帯に18歳(到達以後最初の3月31日まで) 以下の子どもがいる保護者 助成額 島しょ部間及び市内陸地部までの移動にかかる交通費の1/2(上限1万円)	5,000	県1/2 市債	2,500 2,500
	②通学費助成事業 ア 中学生 [こども未来課] 対象者 市内在住で市内の中学に通学する生徒の保護者 助成額 通学定期代の1/2(上限5千円/月)を助成	1,830	市債	800
	イ 高校生 [こども未来課、教育大綱推進課] (基礎支援) 対象者 市内在住で市内の高校に通学する生徒の保護者 助成額 以下のいずれかの経費の1/2(上限額あり)を助成 ・通学定期代(上限5千円/月) ・電動アシスト自転車購入費(上限75千円)	15,645	県1/2 市債	5,570 5,900
	(追加支援) a 陸地部から島しょ部高校に通学する高校生 対象者 陸地部在住で島しょ部の高校に通学する生徒の保護者。但し、 基礎支援において電動アシスト自転車購入に係る助成を選択した場合は対象外。 助成額 通学定期代から基礎支援の助成額を差し引いた額(上限10千円/月)	8,300	市債	8,300
	b 島しょ部在住で島しょ部の高校に通学する高校生 対象者 島しょ部在住で島しょ部の高校に通学する生徒の保護者。但し、 基礎支援において電動アシスト自転車購入に係る助成を選択した場合は対象外。 助成額 通学定期代から基礎支援の助成額を差し引いた額			
	ウ 大学生 [しまなみ振興課] 対象者 島しょ部から市内の大学等に通学する学生 助成額 定期券又は橋の通行料(ETC利用分に限り)(月5千円上限)	480	市債	400
	③医療・福祉サービス利用等に係る交通費支援 ア 妊産婦健診等に係る交通費助成 [しまなみ振興課] 対象者 島しょ部に居住し、以下の対象事由に該当する者 助成額 しまなみ海道通行料金の一部 対象事由 ①妊産婦健診、②乳児健診、③産後ケア事業、④小児救急医療、 ⑤産後1か月までの受診、⑥不妊症・不育症治療、⑦母子保健事業	2,000	県1/2 市債	1,000 1,000
	イ 出産サポートタクシー利用助成 [こども未来課] 対象者 妊産婦 助成額 妊娠36週から出産後1月までの健診と出産にかかる全7回 分のタクシー利用料金(しまなみ海道通行料金含む)	500	県1/2 市債	250 50
	ウ 障がい児通所支援利用に係る交通費助成 [しまなみ振興課] 対象者 島しょ部に居住し、障がい児通所支援事業所に通う児童を 養育する保護者 助成額 しまなみ海道通行料金のうち半額相当分 (既存の障がい者割引制度と同様)	500	県1/2 市債	250 200
	エ ファミリー・サポート・センター島しょ部会員講習支援事業 [こども未来課] 対象者 島しょ部に居住するファミリーサポートセンターの提供会員 助成事業 提供会員に必要な講習受講 助成額 しまなみ海道通行料金の一部	100	市債	100

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

## &lt;今治型学校教育（個別最適教育・先進グローバル教育）の推進&gt;

## 12 学力向上対策

(1) 学力向上に向けた各校のサポート体制強化〔教育大綱推進課・学校教育課〕 教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できるようサポート体制を構築することで、授業の質の向上を図るとともに児童生徒がより安心して学習に取り組める学校環境を整えようとするもの	320,371	国3/5	7,267
①スクールサポートスタッフ（10人） 教材作成補助や事務業務による教師の時間創出支援	16,684		
★ ②外国人語学補助員（16人⇒18人） 日本語の配慮を要する外国籍児童生徒の語学補助	23,188		
③学校生活支援員（70人） 障がい等のある児童生徒の生活支援	172,716		
④学習アシスタント（41人） 配慮が必要な児童生徒に寄り添った学習支援	102,332		
★ ⑤学校司書（2人⇒3人） 学校図書館における選書購入等による環境整備や読書推進の支援	3,348		
⑥学生ボランティア（登録29人） 校内環境の整備や下校指導補助等	2,103		
(2) 学習支援・ドリルソフト等導入事業〔学校教育課〕 ドリルソフトや学習アプリのAI機能を活用し、子どもたちの学習意欲の向上を図るとともに、個別最適な学習を実現するもの	30,223		

## 13 英語力向上対策

「瀬戸内の世界都市・今治」の実現に向け、就学前から高校までの子どもたちの発育段階に合わせた英語教育の充実を図るとともに、次世代を担う子どもたちのグローバルな感覚をより一層育もうとするもの

(ふるさと納税重点活用事業)

◎ (1) 英語力向上今治メソッド推進事業〔教育大綱推進課〕 市内全域で質の高い英語教育を実現することを目的に、外部有識者を招聘し、A L Tを最大限に活用した英語教育改革に取り組む。	1,877		
★ (2) A L T（外国語指導助手）の充実〔教育大綱推進課・学校教育課〕 英語を公用語とする海外都市との国際交流協定締結を機に、小中学校における外国語指導助手（A L T）を拡充し、子どもたちが生きた英語に触れる機会を拡大することで、英語教育の更なる充実を図る。	276,644		
①A L Tの配置（17人⇒40人）	273,149		
②A L Tコーディネーターの配置（1人） A L Tの生活支援のサポート、職員の事務業務を担当	3,191		
③A L Tアドバイザーの配置（1人） 学校との連携面強化、業務管理、配置、派遣計画の策定	304		
★ (3) イングリッシュキャンプの開催〔教育大綱推進課〕 外国人の講師や留学生と英語でのコミュニケーションを楽しみながら、英語を身につけるデイキャンプ及びステイキャンプを実施するもの	5,944		
①デイキャンプ（日帰り体験研修） 対 象 小学生（1～6年生）80名/回 場 所 総合福祉センター等（予定） 時 期 計9回（R7実績4回） 夏休み5回、冬休み2回、春休み2回 講 師 A L T、市内2大学等に通う外国人留学生、地域案内通訳士等			
②ステイキャンプ（宿泊体験研修）※今治青年会議所と連携 対 象 中学生（1～3年生）23名/回 場 所 グリーンピア玉川、鈍川温泉（予定） 時 期 計4回（R7実績3回） 夏休み3回、冬休み1回 講 師 A L T、市内2大学等に通う外国人留学生、地域通訳案内士等			
③オールイングリッシュエクスカージョン 学校とは違う環境で、中学2年生の遠足をオールイングリッシュで実施する			
④地域d e イングリッシュキャンプ 地域の文化祭等のイベントに児童生徒とA L Tが参加し、地域住民に対して英語にて交流する			
⑤自然の家d e イングリッシュキャンプ 自然の家において他校のA L Tを動員し英語に触れる機会を創出する			
(4) 学習支援・ドリルソフト導入事業〔学校教育課〕※12(2)再掲 英語4技能（聞く・話す・読む・書く）を全て学習可能なソフトを導入し、子どもたちに合った個別最適な英語学習を支援し、英語力向上を目指すもの	30,223		
①ドリルソフト 対 象 小学生 内 容 中学校3年生までの学習内容を解説動画付きで各自で選択可能			
②学習アプリ 対 象 中学生 内 容 過去5回分の英検問題集を提供（問題毎の解説や直前対策ポイントあり）			

	(5) 英語力向上支援事業 [学校教育課] 英語に対する学習意欲及び英語力の向上を図ることを目的に、英語の技能検定を受検する子どもを支援しようとするもの	14,400		
	①英語検定受検料補助金 5,000 対象者 英検を受検した小中学生の保護者 対象検定 英検3級以上 補助額 検定受検料全額(年度内に1回)			
☆	②英検対策講座の実施 対象者 英検を受検予定の希望する小中学生 内 容 年3回ある英検受験に向けて放課後等を利用して各学校においてALTが対策講座を開催			
◎	③英語コミュニケーション力調査・分析事業 [学校教育課] 9,400 スコア型英語技能検定(GTEC)により、生徒の英語の能力や課題について調査研究し、分析したデータに基づいた指導を実施することで英語力向上を図るもの 対象者 公立中学校に在籍する2、3年生全員			
☆	(6) 保育施設イングリッシュティーチャー派遣事業 [保育幼稚園課] 913 ※11(6)再掲			
◎	(7) 市内高校へのALT派遣 [学校教育課] ゼロ予算 ALTを市内高校の授業や部活などに派遣し、生徒と交流することで英語によるコミュニケーション能力の向上と外国文化を学ぶ機会を提供しようとするもの			
	<b>14 体力向上対策 [学校教育課]</b> 児童生徒の身体能力の低下が懸念される中、子ども達のスポーツへの関心を高めるとともに体力の向上を図ることを目的として、外部の専門家と連携しながら各校で取り組む特色ある体力向上活動を推進しようとするもの			
	(1) 子ども体力向上対策事業 3,500 小学4年生及び中学1年生の児童生徒を対象に、地元プロスポーツ団体等から走り方を中心とした身体の動かし方を学ぶ機会を提供するとともに、教職員の指導力の向上を図ろうとするもの	繰入金	3,500	
☆	(2) 一般社団法人コーチング科学推進機構との連携事業 2,500 一般社団法人コーチング科学推進機構と連携し、子どもたちの体力や運動能力、運動習慣などの調査・分析を行うほか、小中学校の教員向けの研修などを通じて子どもたちの体力向上に資する指導方法を確立しようとするもの 対象校：伯方小、大三島小、上浦小、吉海小、宮窪小	繰入金	2,500	
	<b>15 教育のデジタル化推進</b>			
	(1) ICT支援員配置(小・中学校) [教育大綱推進課] 35,574 学習者用タブレット端末や電子黒板等ICT機器を活用した授業の円滑な進行や、教員・児童生徒のICT活用に係るスキルアップなどを目的にICT支援員を配置するもの(6人)			
☆	(2) 通信環境の整備(小・中学校) [教育大綱推進課] 19,805 機器及びサービスの改善を図り、文部科学省が推奨する通信環境を整備しようとするもの 対象校：18校(小学校12、中学校6)	市債	15,500	
◎	(3) ポケットブック for スクールの導入 [学校教育課] ※9(5)再掲 672			
	(4) プログラミング教育推進事業 [学校教育課] 1,000 技術・家庭科(技術分野)指導教員に対する事前研修を行うほか、中学3年生を対象に、主体的にプログラミング学習に取り組めるよう、全中学校へオンライン出前授業を実施するもの			
◎	(5) 今治市KIDSプログラミングコンテスト(仮称)開催 1,000 [未来デジタル課・学校教育課] 小学生たちがプログラミングコンテストを通じて楽しくプログラミングに取り組むことで新たな学習機会を提供しようとするもの 対 象：今治市内在住の小学生 テーマ：今治市の課題解決に向けたコンピュータープログラミングを用いたオリジナル作品 ※「TECH KIDS GRAND PRIX」(サイバーエージェントグループが開催している全国の小学生を対象としたプログラミングコンテスト)と連携予定			

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

<b>16 部活動の地域展開支援 [学校教育課]</b>			
★ (1) 休日の部活動地域展開支援	4,428	県債 2/3	2,952
① 運営団体・実施主体等の体制整備・拡充 ・外部講師の拡充 (講師9⇒21名、競技4⇒6) R8:水泳・剣道・ソフトテニス・バレー・サッカー・ソフトボール (参考) R6:水泳 R7:水泳・剣道・ソフトテニス・バレー	3,308		
② 移動費助成 島嶼部 (大島中・立方中・大三島中) の部活動を円滑に実施するための移動に係る助成	1,120		
★ (2) 平日の部活動支援 対象校に部活動指導員を配置し、教師に代わる指導等を実施 部活動指導員の配置 (2人⇒3人) 配置校:立花中学校 (ソフトボール部) 大島中学校 (陸上競技部) 日吉中学校 (女子ソフトテニス部) (R8～拡充)	1,149	県債 2/3	702
<b>17 島しょ部高校魅力創造事業</b>			
(1) 高校魅力化提言会議 [教育大綱推進課] 令和8年4月より新設・開学する島しょ部高校の魅力向上を目的に、高校魅力化提言会議を開催し、特色ある学校づくりや継続的な入学者確保に向けた提言を行うもの 名 称 愛媛県立しまなみ高等学校 開設時期 令和8年4月 特 色 1年次は共通のカリキュラムで学び、2年次から4つの系列をベースとした科目に分かれて学習する ・伯方キャンパス (文理探求系列、マリナビジネス系列) ・大三島キャンパス (総合進学系列、アグリビジネス系列)	288		
(2) 教育振興費 [教育大綱推進課]	15,530	市債	8,300
① 島しょ部高校生生徒の部活動に要する経費に対する補助	1,104		
② 島外から通学する生徒の交通費 (定期代) に対する補助	8,300		
③ 島外居住の生徒が島内に下宿するのに必要な家賃の補助	6,126		
(3) 島しょ部高校魅力創造支援事業 [しまなみ振興課] 令和8年度に開学する「しまなみ高校」に対し、生徒たちが行う学校の魅力向上や地域交流、学習機会の地理的制約の解消などの取組を支援しようとするもの ① 地域塾運営等事業 スタディサブリを提供し、島内での学習機会を確保 ② 魅力発信事業 制服や校章、カリキュラムなど新しい学校の魅力を広く発信 ③ 生徒による魅力創造活動 地域と協働して活動する事業	8,000	市債	8,000
<b>&lt;教育環境の整備・充実&gt;</b>			
<b>18 教育環境の整備・充実</b>			
○ (1) 特別教室に係る空調設備整備 [教育大綱推進課] 特別教室のうち、美術室、家庭科室等の未整備教室への空調整備及び受変電設備の改修 事業期間 令和8年6月～令和10年3月 (予定) 全体事業費 2,300,000千円 (内訳) 小学校分 1,224,000千円 (R8:485,000千円/R9:739,000千円) 中学校分 1,076,000千円 (R8:426,400千円/R9:649,600千円) 整備対象校 小学校26校、中学校15校 <債務負担行為予算>1,388,600千円 (R8～R9年度)	911,400	市債	734,600
◎ (2) 屋内運動場等に係る空調設備整備アドバイザー業務委託 [教育大綱推進課・障がい福祉課・スポーツ振興課] 子どもたちの学びの場でもあり避難所にも指定される小中学校の屋内運動場や市内体育館等に空調設備を新たに導入するもの 対象施設 小学校28施設 (現役校26施設+廃校 (旧今治小、旧上朝小) 2施設) 中学校23施設 (体育館14施設+武道場9施設) 障がい者文化体育施設1施設 (サン・アビリティーズ今治1施設) スポーツ施設4施設 (大西体育館及び菊間緑の広場公園のアリーナ・格技場) R8実施内容 アドバイザー業務委託 <債務負担行為予算>35,000千円 (R8～R10年度)	15,000		
○ (3) 中学校校舎改修設計 [教育大綱推進課] 西中学校 実施内容 (校舎) 外壁改修、屋上防水、トイレ洋式化 (屋内運動場) バスケットゴール等の耐震化 (武道場) 鉄骨部塗装修繕	11,600	市債	8,700

(単位：千円)

特定財源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

○	(4) 中学校校舎改修工事[教育大綱推進課] ①近見中学校 実施内容 (校舎) 防水改修、外壁改修、トイレ洋式化、バリアフリー化 (屋内運動場) バリアフリー化、バスケットゴール等の耐震化 <債務負担行為予算>61,200千円 (R7~R8年度) ②立花中学校 実施内容 (校舎) 防水改修、外壁改修、トイレ洋式化、エレベーター設置 (外構) ブロック塀改修 <債務負担行為予算>85,500千円 (R8~R9年度) ③桜井中学校 実施内容 (校舎) 防水改修、外壁改修、トイレ洋式化 (屋内運動場) バスケットゴール等の耐震化 <債務負担行為予算>90,000千円 (R8~R9年度)	178,200	国1/2・1/3 市債	20,681 121,800
	(5) バリアフリー化改修工事[教育大綱推進課] 小学校 鳥生、亀岡、菊間、上浦、岡村 中学校 立花、南、西、菊間、大三島 <債務負担行為予算>141,900千円 (R7~R8年度)	141,900	国1/2 市債	47,424 66,700
○	(6) トイレ洋式化整備事業[教育大綱推進課] 年間予定整備基数 64基 (小学校39基、中学校25基) 洋式化率 R6:36.5% ⇒R7(見込):40.1% ⇒R8(見込)44.5%	64,000		
◎	(7) 学校給食施設再編整備基本計画の策定支援 [学校給食課] 既存施設・設備の老朽化や生徒数の推移などを踏まえ、市内にある共同調理場(11施設)と自校式調理場(10施設)の今後のあり方について検討しようとするもの	5,000		
◎	(8) 電話録音装置及び終了アナウンス導入[教育大綱推進課] 学校設置の電話機に通話録音装置及び休日・時間外における業務終了アナウンスの自動応答装置を設置するもの 対象校 41校 (小学校26校、中学校15校)	5,817		
<b>19 教育応援基金 [教育大綱推進課]</b>				
企業版ふるさと納税等による寄附金を教育応援基金に積み立て、これを活用し充実した教育環境の整備を推進しようとするもの				
	(1) 教育応援基金への積立金 寄附額(企業版ふるさと納税1,000千円+一般ふるさと納税10千円) 基金利息(1千円)	1,011	寄附金 財産収入	1,010 1
	(2) 教育応援事業費補助金 寄附金額の9割を財源として寄附者が指定する高校が行う以下の①~③の事業に要する経費の一部を補助しようとするもの(寄附金額の1割は、市の教育行政推進のために活用) 対象者 市内の私立高校、県立高校の各教育振興会 対象事業 ①市外からの生徒の受け入れに関する事業 ②スポーツ・文化の振興に関する事業 ③国際交流及び地域交流に関する事業 補助率 10/10(指定校毎の基金積立額を上限)	1,818	繰入金	1,818
<b>20 給食費等の負担軽減による子育て支援</b>				
☆	(1) 材料費物価高騰対応事業 [保育幼稚園課・学校給食課] ※1(1)再掲	87,896	国 臨時交付金	87,896
◎	(2) 学校給食費無償化支援事業(小学校) [学校給食課] 小学校学校給食無償化に伴い、国が定める基準額を給食運営委員会へ補助しようとするもの 補助対象 給食運営委員会 積算根拠 国・県からの補助 5,200円/月×11月÷年195回≒294円/食 294円/食×195回×5,965人=341,974千円	341,974	県(国) 10/10	341,974
◎	(3) 学校給食費非喫食者等支援事業(小学校) [学校給食課] アレルギー対応等による給食非喫食者の保護者に対し、小学校学校給食無償化に伴い国が定める基準額を補助しようとするもの 補助対象 アレルギー対応等をしている非喫食者の保護者 積算根拠 国・県からの補助 5,200円/月×11月÷年195回≒294円/食 294円/食×195回×35人=2,007千円	2,007	県(国) 10/10	2,007

21 日本一おいしい学校給食づくり [学校給食課]

3,055

(ふるさと納税重点活用事業)

(1) 日本一おいしい給食レシピコンテスト

市内産の食材(農産物)を活かした給食メニューを開発するため、市民などからレシピを公募する給食レシピコンテストを実施。

※優秀なレシピについては、給食メニューとして定番化し児童生徒に提供するとともに、「全国学校給食甲子園」にエントリー予定

☆ (2) 日本一おいしい給食フェア(市民向け試食会・給食PRブース)

せとうちみなとマルシェにおいて日本一おいしい給食フェアを開催するなど、市内で実施される各種イベントにおいて給食PRブースを出展し、一般市民向け試食会などを開催

◎ (3) 小学校の家庭科授業と連携した食育の実施

給食への理解と関心を高めてもらうため、小学生を対象に給食の食材について種付けから収穫、メニュー開発、家庭科の授業での調理体験、試食を行う。

開発したメニューについては、市内の学校へ給食として提供する。

(4) シェフによる地元産農畜産物を使った給食レシピ開発

招聘する市内のシェフの地元食材を活用したレシピ開発技術を栄養士が学び、日頃の献立作成や調理に活かしてもらおうとするもの

☆ (5) 学校給食親子探検(規模拡大:24名⇒40名)

親子で普段見ることのない給食調理場を探検し、給食が教室まで届けられる過程を知る機会を提供することで、食育の推進を図る

22 図書館活用促進事業 [生涯学習課]

6,000

◎ (1) 今治市立図書館開館100周年事業

市立図書館開館100周年を契機に、中央図書館において読書の推進や子どもたちの将来のキャリア育成に資するイベントを開催するもの

《事業内容(予定)》

① 風良ゆう氏企画(映画公開に合わせた企画展・講演会など)

② 100周年企画展示(今治市立明德図書館報復刻など)

③ 人気作家講演会(角田光代氏、早見和真氏予定)※前夜祭として夜の図書館開催

④ アニメーションワークショップ(矢野ほなみ氏予定)

⑤ 若者向けワークショップ(ブックディレクターなど)

⑥ 大手出版編集者による「絵本制作」の講演

⑦ 今治版ビブリオバトル大会(人気作家、ラジオ生放送、YouTubeライブ配信、動画制作)

⑧ 今治出身クリエイターの紹介展示(黒川博行氏、長野ヒデ子氏、坂野義光氏等)

⑨ 屋上ラウンジ設置(カフェやイベント会場として活用)

⑩ プロモーション動画制作

☆ (2) 図書館システム更新

供用開始 令和8年10月1日

内 容 システム更新及び無人貸出機(10機)の導入等

6,153

◎ (3) 図書館ビジョン喋り場事業

図書館運営審議会や各種ワークショップの開催などを通じてより多くの利用者の声を聞き取り、令和7年度に策定した図書館ビジョンをベースとしながら、今後の図書館が更に市民に愛され活用されるものになるよう将来像を明確に描こうとするもの

100

<健康・医療・福祉都市づくり>

23 看護、介護、保育の人材確保定着制度

本市において人材不足する看護師、介護福祉士、保育士といったエッセンシャルワーカーの確保・定着を図り、こどもから高齢者まで安心して暮らせる地域づくりを目指すもの

(1) 医療福祉人材市内定着支援事業

10,700

繰入金

7,340

看護師、介護福祉士、保育士として市内に就職した者に対し、就職奨励金を支給するもの

諸収入

3,360

① 看護師 [健康推進課]

7,000

対象者 看護師養成施設(3年課程以上)を卒業し、看護師資格を取得した者であって、本市に居住し、令和7年度以降に新卒で市内医療機関に常勤の看護師として就職した者(市職員除く)

助成額 看護師養成施設授業料の1/3を5か年に渡り支給

(上限:96千円/年、480千円/5年)

※市内養成施設卒業生の場合、助成率2/3。助成額の嵩上げ分については今治市医師会が負担(上限:192千円/年、

960千円/5年)。

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

②介護福祉士〔介護保険課〕 1,800  
 対象者 介護福祉士養成施設を卒業し、介護福祉士資格を取得した者であって、本市に居住し、令和7年度以降に新卒で市内高齢者施設に常勤の介護福祉士として就職した者（市職員除く）  
 助成額 介護福祉士養成施設授業料の1/3を5か年に渡り支給（上限：73千円/年、366千円/5年）

③保育士〔保育幼稚園課〕 1,900  
 対象者 保育士養成施設を卒業し、保育士資格を取得した者であって本市に居住し、令和7年度以降に新卒で市内保育関連事業所に常勤の保育士として就職した者（市職員除く）  
 助成額 保育士養成施設授業料の1/3を5か年に渡り支給（上限：73千円/年、366千円/5年）

◎ (2) 今治看護専門学校授業料貸与制度補助事業〔健康推進課〕 2,400 繰入金 2,400  
 今治市医師会が行う今治看護専門学校に入学し、卒業後今治地域の医療機関に看護師として就職しようとする者に対し、返済免除条件付きで授業料を貸与する制度を支援することで、市内の看護人材の確保を図ろうとするもの  
 対象者 R8年度以降今治看護専門学校第一看護学科に入学した者であって市内医療機関で3年間以上勤務することを確約した者  
 負担割合 医師会1/5、県3/5、市1/5

(3) U I J ターン医療福祉人材支援事業 6,000 県 1,200  
 繰入金 4,800  
 市外から市内に転入等し、看護師、介護福祉士、保育士として就職した者に対し、引っ越し費用や制服購入費等、就労準備に係る経費の一部を支援しようとするもの  
 対象者 令和7年度以降市内の医療機関、高齢者施設、保育関連事業所に看護師、介護福祉士、保育士として、3年以上継続して勤務することを前提に常勤職員として就職した者の内、以下に該当する者  
 ア 就職を機に本市内に転入した者  
 イ 県外から県内の各職種養成施設に進学し、市内に転入または本市内で転居を行った者（いずれも市職員除く）  
 対象経費 勤務を開始するために要した以下の経費  
 ア 引っ越し代、礼金、仲介手数料、家賃  
 イ 通勤用の自転車、職場で使用する被服等  
 ウ その他、生活に必要な用品等の購入費  
 支給額 1人あたり20万円（上限）

(4) 看護師養成事業（市医師会）〔健康推進課〕 12,000  
 地域の看護人材を確保するため、今治看護専門学校における看護師養成等の取組を支援するもの

◎ 24 がん検診の無償化〔健康推進課〕 10,000  
 基本健診を受診した市民を対象に、がん検診のうち1項目に係る経費を無償化することで、がんの早期発見・早期治療による死亡率の低減を目指すとともに、特定健診受診率向上も図り、市民の健康の保持増進に寄与しようとするもの  
 対象者 特定健診等受診者等  
 対象がん検診 胃がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん、大腸がん  
 無償化期間 R8年度～R10年度（3年間）

25 予防接種事業〔健康推進課〕 10,000  
 (1) 子どもを守るインフルエンザ予防接種に対する支援  
 生後6か月から12歳までの小児・児童及び受験生世代（中学・高校3年生）に対し、予防接種にかかる費用の一部を助成するもの  
 助成額 1回につき1,000円（12歳までの小児・児童は2回まで）

★ (2) 高齢者带状疱疹ワクチン接種事業 48,332  
 高齢者の带状疱疹発症のリスク、重症化軽減のためワクチンの自己負担額の減額  
 対象者 ①R8年度に65歳に到達する者のうち带状疱疹ワクチン未接種者  
 ②5年間（R7～R11年度）の経過措置として各年度において70、75、80、85、90、95、100歳が対象  
 個人負担額 ①生ワクチン  
 4,500円 ⇒ 4,000円  
 ②不活化ワクチン（2回接種）  
 33,000円（16,500円/回×2）⇒ 21,000円（10,500円/回×2）

★ (3) 高齢者インフルエンザ予防接種事業 50,000  
 標準量ワクチンよりもより効果の高い高用量ワクチンの接種開始  
 対象者 75歳以上（標準量か高用量のどちらかを選択）  
 個人負担額 4,500円（予定）

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

☆	(4) RSウイルス母子免疫ワクチン予防接種事業 新生児や乳児のRSウイルス感染症の重症化を防ぐため定期接種を開始 対象者 妊娠28週から37週に至るまでの妊婦 個人負担額 無料	16,343		
◎ 26	<b>難聴者補聴器購入費助成事業【福祉政策課】</b> 聴力機能の低下により日常生活に支障をきたしている方であって、非課税世帯に 属する満18歳以上の方を対象に補聴器購入費の一部を補助する制度を開始しよう とするもの 対象者 ・市内に在住の満18歳以上の方 ・両耳聴力が30dB以上70dB未満の軽度、中等度難聴で医師の意見で 補聴器の使用の必要性が認められる方 ・非課税世帯である者 補助額 上限3万円	2,400		
◎ 27	<b>お供馬活用事業【地域振興課・障がい福祉課】</b> (1) 地域おこし協力隊の採用 ※5⑨再掲 お供馬を活用した地域おこし事業の企画立案・実施する隊員を新たに採用するもの 活動内容 ①お供馬を活用した地域貢献活動となるイベント等の事業提案 ②JRA、NPO法人菊馬会、岡山理大、野間馬保存会等と連携 ③将来のお供馬の飼育方法転換の計画立案の実施 ④SNSや動画コンテンツ等を活用した情報発信 (2) ホースセラピー・乗馬体験事業 R7年度に初開催したホースセラピー・乗馬体験事業を継続して開催するもの 開催日 R8年5月上旬 会場 菊間町池原小ヶ丸広場公園 実施内容 お供馬乗馬体験、ホースセラピー、野間馬、モルモット等のふれあい体験等 協力 NPO法人菊馬会、JRA、野間馬保存会、岡山理科大学獣医学部馬術部 など ホースセラピーの効果 平衡感覚の養成、情緒安定、柔軟性の向上	5,125		
		829		
<b>&lt;共生社会の充実&gt;</b>				
◎ 28	<b>共に生きる社会づくりの推進【市民参画課】</b> (1) 多文化共生の推進加速化事業 市内の外国人住民に対して、暮らしやすさを確保するための支援を行うとともに、 国際交流協会の多文化共生機能の強化を図るなど、共生社会の実現に向けた環境 整備の更なる充実を図っていくもの ① 国際交流協会の運営支援 ② 多文化共生講座の開催 ③ 外国人住民と地域住民のネットワーク構築事業 ④ 相互理解のための交流や意識醸成 ⑤ 多言語対応に関する手引書や用語集の作成 ⑥ 資格取得の後押し	22,426	国1/2	5,216
☆	(2) 外国人住民への生活相談体制の充実 多言語対応可能な相談窓口を設置するとともに、交通ルールやごみの捨て方など、 日常生活を過ごすうえで必要となる基本的な情報を解説した多言語リーフレット を作成するもの 外国人相談窓口の設置 1,529千円 多言語リーフレット制作 1,200千円	2,729	国1/2	1,364
◎	(3) 災害対応多言語コールセンターの開設 災害時に外国人住民が相談可能な多言語コールセンターを開設するもの	238	国1/2	119
<b>&lt;「みなさと」戦略の展開&gt;</b>				
◎ 29	<b>しまなみ・今治移住施策の深化</b> (1) 二地域居住コーディネーターの配置【しまなみ振興課】 将来の移住へつながる関係人口の拡大を図るため、都市と地方に生活拠点を持つ 「二地域居住」を希望する方に対し、情報提供や相談対応、地域での生活支援を 行うコーディネーターを配置し、移住・交流・定着に向けた相談支援体制の強化 するもの (2) 今治版デュアルスクール全校区展開【学校教育課】 地方と都市の2つの学校で教育を受けることができる環境を整備し、地方と都市 双方の視点に立った考え方で育める人材を育成するとともに、二地域居住や地方 移住を促進しようとするもの 実施場所 市内全小中学校 対象者 移住体験を希望する市外の児童生徒	4,344		ゼロ予算

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

(3) おいで今治！もどろう今治！お試し移住滞在サポート事業 [地域振興課・しまなみ振興課] 多くの移住希望者が本市を訪れる機会を創出することを目的に、移住希望者による移住の実現に向けた市内への訪問活動に要する宿泊費の一部を助成 補助内容 1人当たり5,000円/日(上限6泊分・最大30,000円)	2,000		
(4) 住もういまばり！住宅改修賃貸支援 [地域振興課・しまなみ振興課] 空き家の市場化を促進することを目的として市内の空き家所有者に対し、住宅改修等にかかる経費の一部を助成 対象経費 ①住宅の改修(居住に関する諸工事) ②家財道具の搬出等(入居又は住宅の改修に必要な家財の搬出や清掃等) 補助率等 ①1/2(上限100万円) ②1/2(上限10万円)	3,300		
(5) 住もういまばり！移住者住宅取得事業 [地域振興課・しまなみ振興課] 市外からの「若者人材」の確保と定着に向け、市外からの移住者に対し住宅の新築又は購入に要する経費を支援 補助内容 住宅の新築または購入費用 補助率等 1/10(上限30万円) 加算金 18歳以下1人につき10万円を加算(上限20万円 ※条件不利地域は上限40万円)	20,000		
(6) 移住者住宅改修支援事業 [地域振興課・しまなみ振興課] 働き手世代等の移住・定着を促進し、人口減少抑制と集落機能の維持存続を図るため、県外からの移住者に対し住宅の改修等に要する経費を支援 補助内容 住宅の改修・家財道具搬出 補助率等 通常地域 2/3以内・上限100万円(子育て世帯400万円) 条件不利地域 2/3以内・上限150万円(子育て世帯500万円)	40,000	県1/2	19,800
<b>★ 30 合宿誘致等を通じた関係人口・交流人口の創出</b>			
(1) 大学ゼミ合宿等支援事業 [市民が真ん中課] 市内人口が減少するなか、まちづくりに寄与する関係人口を増加させることで持続可能なまちづくりを推進するため、まちづくりに資する大学ゼミ合宿など、大学生等が市内に宿泊して行う活動を支援しようとするもの (対象の拡大) (現行) 対象事業 まちづくりに資するゼミ合宿等(宿泊を伴うもの) 対象者 学校教育法の規定に基づく大学等の高等教育機関に属する生徒及び教員 補助上限 1人1泊あたり3千円(宿泊費の1/2補助) ※1団体上限100千円、市内企業への訪問を行う場合、5千円に引き上げ (追加内容) 関係人口増加、移住促進、地域課題解決に向けた外部人材の参入 対象事業 地域課題解決を目的としたワーケーション開催等(宿泊を伴うもの) 対象者 主に市外在住者で組織される任意団体 補助上限 1人1泊あたり3千円(宿泊費の1/2補助) ※1団体上限100千円	500		
(2) スポーツ合宿開催経費補助金 [スポーツ振興課] 県外に所在するスポーツ団体等が今治市内の体育施設等及び宿泊施設利用を伴った合宿を行う場合に、宿泊経費の一部を支援しようとするもの (補助対象区分の見直し) 旧：上限一律300千円 → 新：国内外のプロスポーツ団体500千円、その他300千円	2,800		
(3) 文化合宿等開催費補助金 [文化振興課] 市外在住で市内で開催される文化イベントに参加する者、市外に所在する市内で合宿等を行う文化活動団体に対して、宿泊経費の一部を支援するもの 補助上限300千円	300		
(4) スポーツ・文化・芸術大会等の参加者へのおもてなし [スポーツ振興課・文化振興課] 県外からの参加者が多く見込まれる西日本大会規模以上の出場者に対して、本市の特産品を配布することで、今後の関係人口の増加を図ろうとするもの	1,750		
<b>Ⅲ 産業に活力を与える『まち』に ～瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進～</b>	<b>883,382千円</b>		
<b>&lt;地域経済の「新しい成長」&gt;</b>			
<b>★ 31 地域産業支援拠点管理運営費 [産業振興課]</b>	<b>40,000</b>		
地場産業の振興、新産業の創出を目的として地場産業振興センターが行う事業に要する経費及び施設の運営管理費を補助しようとするもの。令和10年に地場産センターの建物内に愛媛大学のサテライト会場が開設されることから、大学と連携し、市内企業の課題解決や起業支援、小中高生向けIT人材育成をより一層推進するとともに、地場産業振興センターを次世代産業を創出する「知の拠点」とし再構築していく			

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

- (1) 地域産業活性化事業 20,835
  - ・経営支援（各種セミナー等）
  - ・人材育成 ①少年少女発明クラブ
    - ②小中学生プログラミングイベント
    - ③ビジネスアイデアコンテスト 等

市内小中学生向けのプログラミングイベントを開催し、デジタルスキルや論理的思考力を育む。また、小学校高学年向けのビジネスアイデアコンテストを開催し、発想の創造性や自己表現力・考える力を高め、アントレプレナーシップを醸成することで、将来的に地域産業や社会に貢献できる人材の育成を図るもの
- (2) インキュベーション事業 17,876
  - ・創業支援、起業家同士の連携等の伴走支援
- (3) 需要開拓支援事業 1,289
  - ・大都市圏等への商談会展展支援

- ◎ 32 経営力強化伴走支援事業 [産業振興課] ※3 (1) 再掲 15,000 国 臨時交付金 15,000
- ◎ 33 物価高騰対応DX・GX緊急対策事業 [産業振興課] ※3 (2) 再掲 100,201 国 臨時交付金 100,201
- ◎ 34 大西地区造船振興土地造成 [海事都市今治推進課] 3,000 繰入金 3,000
 

今治市造船振興計画に基づき、大西地区に立地する造船所用地の拡張と効率的な建造施設の再配置により造船業の振興を図るとともに、安定した雇用の創出を通じて今治市の活性化に寄与するもの

構造物撤去工 一式

<債務負担行為>1,102,200千円（令和8年度～令和11年度）

<新・今治のみなとづくり・まちづくり>

★ 35 中心市街地ランドデザインの推進

(ふるさと納税重点活用事業)

持続可能な都市経営の実現を目指して、中心市街地ランドデザインで示したまちなかの将来像や取組の方向性等を踏まえ、公共施設・公共空間の再編を一体的・総合的に推進するもの

(1) シビックゾーン再編整備事業

- ①ネウボラ拠点施設整備事業 [ネウボラ政策課] ※10 (1) 再掲 5,058 国1/2 1,350
  - 市債 1,200
  - 繰入金 2,508
- ②合同庁舎整備事業 [総務調整課] 59,630
  - ア 合同庁舎整備基本計画の策定 50,000
 

施設の機能及び配置などの基本条件を検討し、概算事業費、事業スキーム、整備スケジュール等を定める基本計画を策定するもの
  - イ 合同庁舎整備検討審議会 330
 

合同庁舎整備基本計画の調査、審議及び意見の答申のため、合同庁舎整備検討審議会を設置するもの（学識経験者等10人以内）
  - ウ 河野美術館の解体設計 9,300
 

合同庁舎建設予定地として位置付ける河野美術館について、解体に向けた設計業務を行うもの
- ③今治版MICE施設整備事業 [海事都市今治推進課] 36,568
 

国際海事都市“IMABARI”の象徴となるMICE施設整備の実現に向け、新たな海事の未来を切り拓くため基本計画の策定に着手するもの

  - ア MICE施設整備基本計画策定業務 36,300
 

本施設の役割や集約効果、市民意向を踏まえた基本理念・機能を整理し、利便性・安全性・環境性・シンボル性・コストを総合的に検討して、規模・配置・建築計画・概算事業費・事業手法・整備スケジュール等を定める基本計画を策定するもの
  - イ 今治市海事都市推進会議 268
 

MICE施設整備基本計画の審議及び答申をしようとするもの

委員構成案 学識経験者、海事産業関係企業従事者等
- ④シビックゾーン新設道路整備 [道路課] 66,000 国1/2 32,500
  - 市債 30,100

中心市街地の再編整備に伴う人の流れや交通の変化に対応するとともに、今後、整備が見込まれるネウボラ拠点施設や合同庁舎等の各施設へのアクセス道路を確保するため、県道38号と市道今治駅天保山線を繋ぐ道路（幅員：18m、延長：330m）を新たに整備しようとするもの

R8内容：測量設計等

(単位：千円)

特定財源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり			
(2) 魅力都市創生事業 [魅力都市創生課]	51,200	国1/2	25,600
① 広小路 (今治港線) 道路空間再編整備事業			
ア 大規模社会実験の企画・運営・効果検証	28,576		
「居心地がよく歩きたくなるまちなか」の実現に向け、県市連携による広小路 (今治港線) の道路空間再編について、社会実験を実施し、交通機能への影響、歩行者の安全確保、滞留・交流の創出等の効果を検証するもの			
イ 道路空間再編デザイン案の作成	12,576		
地域住民・地権者・事業者との協議・合意形成を図りつつ、整備方針、管理運営方針、設計計画、配置計画、主要構造物計画等を精緻化するもの			
② 中心市街地まちづくり推進に向けたその他取組	10,048		
ア 公共空間・交通再編に向けた空間・交通デザイン、活用方法・設えの検討			
イ 都市再生協議会の運営 (公民連携の強化)			
ウ 「まちづくり市民会議2026」の企画・運営			
エ その他 (計画準備、打ち合わせ協議、報告書作成等)			
(3) 今治港内港物揚場改修事業 [港湾漁港課]	69,500		
老朽化が進む内港物揚場について、港湾機能の更新とあわせて、中心市街地と港港エリアのつながりを高め、交流や活動の広がりを生み出す空間として再構築しようとするもの			
R8内容: ① 測量調査設計	36,500		
② 環境現況調査	14,000		
③ 公有水面埋立免許願書等作成	19,000		
◎ 36 持続可能な都市モビリティ計画 (SUMP) の策定 [都市政策課]	20,308	国1/2	9,000
本市のまちづくりを支えるあらゆる移動手段 (公共交通機関や徒歩、自転車、自動車等) を包括し、市全域での人の移動のあり方を長期的なビジョンとして示す、国内でも先進的な「都市モビリティ計画」を国や愛媛県と連携して策定することで、本市が目指す「コンパクト・プラス・ネットワーク」の取り組みを着実に推進しようとするもの			
① 既存アンケートの分析、課題の整理、市民・関係団体とのワークショップ等	18,000		
② 外部への公表に向けた資料作成と取りまとめ	2,000		
③ 計画策定についての調査、審議及び意見の答申のため、都市モビリティ計画審議会を設置予定 (学識経験者等8人以内 任期の定めなし)	308		
◎ 37 国道317号 (松山・今治間) 整備促進期成同盟会負担金 [道路課]	1,000		
本市と松山市を最短ルートで結び、令和9年に水ヶ峠トンネル開通30周年を迎える国道317号について、両都市圏の経済活性化や広域観光の発展、防災力向上を図るため、当該国道の走行性向上に資する線形改良等、愛媛県及び国土交通省等に対して要望活動を行う期成同盟会を設立するもの			
同盟会構成団体 (予定): 本市と松山市の市議会・商工会議所等・観光協会・トラック協会			
◎ 38 市道伊予熊榎線整備事業 [道路課]	20,000	国1/2 市債	10,000 9,000
蒼社川左岸沿いの市道のうち、交通量の多い郷橋から榎橋の区間 (延長: 920m) の歩車道分離を行い、安全で快適な道路環境の整備をしようとするもの			
工期: R8年度~R14年度 (予定)			
R8内容: 道路改良工事			
◎ 39 盛港務所建替事業 [港湾漁港課]	45,476	市債	45,400
老朽化した盛港務所を建替えようとするもので、併せて、外壁に今治らしいデザインを描くなど、立ち寄りたくなる工夫を凝らすことでサイクリストの休憩所などにも活用しようとするもの			
R8内容: 盛港務所建替工事			
<強い農・林・水産業づくりの推進>			
☆ 40 農産物鳥獣被害対策事業 [農林水産課]	83,010	県1/2・定額 県1/2・事業費×1/2・1/3	24,010 9,750
野生鳥獣による農作物被害を軽減するため、捕獲個体の買上支援、捕獲技術向上の研修、防護柵等の被害防止施設整備等を実施するもの			
(1) 有害鳥獣買上金		手数料	27
(通常分)	45,500	財産収入	95
(上乗せ分) 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業による上乗せ支援	22,260		
(2) 鳥獣被害防止総合支援事業			
① 有害捕獲推進	2,000		
箱わな購入・貸出、わな猟技術研修、新規狩猟免許取得助成			
地域ぐるみで取り組む鳥獣被害防止対策研修会の開催			
② ジビエ等の利用拡大の取組	250		
人材育成、試食会の開催等			

	(3) 農業生産被害対策事業 野生鳥獣による農業生産被害を防止するための施設整備に対する助成 補助率 補助対象経費の1/2(1世帯年1回限り) 対象(限度額) 電気柵・防鳥網(5万円) 防護柵(10万円)複合柵(15万円) 箱わな・囲いわな(15万円) 防護柵等に併設する場合の防草シート(防護柵及び複合柵3万円、電気柵4万円) 箱檻・囲いわなに設置するICT機器(遠隔操作による捕獲機器5万円) 防護柵・複合柵・防鳥網の取付費用(1万円)	13,000		
<b>41</b>	<b>地域農業振興事業【農林水産課】</b>			
☆	(1) 地域特産物振興対策関係支援事業 ※3(3)再掲	12,000	国	臨時交付金 12,000
◎	(2) 農業高温化対策支援事業 ※3(4)再掲	3,000	国	臨時交付金 3,000
◎	(3) ひめの凜優良種子等供給体制強化事業 優良種子・優良苗の安定的な供給のため、種子及び育苗関連施設等の整備を支援し、ひめの凜の生産体制の強化を図るもの 実施主体 農業協同組合 補助率 県1/3、市1/6	10,557	県	事業費×1/3 7,038
◎	(4) 緑肥等供給事業 圃場への有機肥料成分の供給による環境負荷低減及び農作物の収穫量等の向上を図るため、緑肥の購入を支援しようとするもの 実施主体 緑肥種子販売事業者 補助率 市1/4	500		
○	(5) 野菜広域選果施設整備支援事業 県内の野菜等の広域選果及び物流体制の再編のために行われる新たな広域選果集出荷施設の整備を支援することで、市内生産者の負担軽減と持続可能な生産体制の維持を図るもの 実施主体 愛媛野菜広域事業コンソーシアム 機能 ①広域選果場機能(とまと・なす・きゅうり) ②県域販売センター設置のによる一元分荷、出荷、配車等の物流体制機能 利用団体 6JA(おちいまばり、松山市、えひめ中央、愛媛たいき、えひめ南、ひがしうわ) 補助率 国1/2、県1/10、市町1/10(※) ※対象市町の過去3か年実績に基づき負担割合を算出 対象市町 13市町(今治市、東温市、砥部町、松山市、伊予市、松前町、内子町、大洲市、西予市、宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町)	5,484		
<b>42</b>	<b>食と農のまちづくり推進事業【農林水産課】</b>			
☆	(1) オーガニックビレッジ推進業務 いまばりオーガニックブランドのPRや販売支援、有機農業スタートアップ企画等を通じて、有機農業・有機農産物の認知度向上及び消費拡大を図ろうとするもの また、11月に木更津市で行われる全国大会に出展し、いまばりオーガニックブランドをPRしようとするもの	1,788		
☆	(2) 有機農業推進事業 有機農業について学べる環境づくりや市内で有機栽培可能な新作物の栽培実証支援等を行い、有機農業の栽培に取り組む農家の拡大を目指すもの R8年度より先駆的有機農業者が継続的に指導できるように補助メニューを追加 ①JAS法に基づく有機認証推進事業(認定手数料等の助成) ②有機農業研修生講習支援事業(研修生受入農家への助成) ③有機農業就農サポート事業 ④有機新作物栽培実証事業	3,560		
	(3) 地産地消推進事業 学校給食で地元食材を活用する場合に、その経費の一部を助成することで、今治産の米や野菜、肉、魚等の消費拡大を目指すもの	13,600		

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

43	<b>新規漁業就業者育成強化事業【農林水産課】</b> U I Jターン等による新規漁業就業者の定住定着促進を図ろうとするもの	6,607		
★	(1) 新規漁業就業者マッチング支援事業 255			
	①短期漁業技術研修 漁業の担い手確保に繋げるため、新たに就漁を検討している者に対して、漁業体験の場を提供するとともに受入れ漁協・漁師とのマッチングを図ろうとするもの 実施主体 愛媛県漁協市内各支所 対象経費 技術指導料（研修生1人あたり上限75千円（25千円/日×3日）） 傷害保険料（研修生1人あたり上限10千円）			
	②長期漁業技術研修移行支援 752 短期漁業技術研修を経て、国の長期研修支援事業に採択されるまでの技術指導等に要する経費に対して支援するもの（最長2か月） 実施主体 愛媛県漁協市内各支所 対象経費 研修経費（国の長期研修支援事業の月額支援費に準ずるもの）			
	(2) 新規漁業就業者育成強化事業 5,600		県1/3	2,800
	新規就漁者の就業に必要な漁業経費に対して支援をするもの 実施主体 愛媛県漁協市内各支所 対象経費 漁具費、燃料費等 補助率 2/3（1人あたり上限1,400千円）			
◎	44 水産業高温化対策支援事業【農林水産課】 ※3(4)再掲	3,500	国 臨時交付金	3,500
○	45 復旧・復興の森づくり事業【農林水産課】 23,854 令和7年今治市林野火災からの復旧・復興に向け、復旧復興計画の方針に基づき、市民や企業と連携して森の再生を目指す“森づくりゾーン”におけるボランティア植樹を実施するもの [スケジュール] 令和7年11月～ 現地測量、地拵え 等※ 令和8年3月 植樹イベント開催（発災から1年）※ 場所 野々瀬地区 参加 朝倉小学校4～6年生、朝倉中学校1～3年生、地元自治会 等 令和8年5月～ 地拵え(6ha) 令和8年11月～ 地域小中学校、各種団体により2haのボランティア植樹 1haあたり2,500本程度植栽を想定 ※令和7年9月補正予算計上済み			
◎	46 全国植樹祭えひめ2026【農林水産課】 4,166 愛媛県で60年ぶりに開催（令和8年5月17日）される「全国植樹祭」において、サテライト会場を開設し、令和7年今治市林野火災からの復興に向けた取組みなどを全国に向けて紹介しようとするもの (1) サテライト会場（イオンモール今治新都市） 2,826 県内5か所のサテライト会場の1つとして、イオンモール今治新都市を会場とし、本会場で行われる式典映像の中継や、イベント、ワークショップを通じて全国植樹祭を盛り上げると共に今治市の魅力を発信するもの ①ステージイベント（郷土芸能） ②関係者によるプランター植樹 プランター植樹した苗木は、秋以降に被災地に植樹 ③しまなみ木のおもちゃ美術館ブース（木育体験ブース） おもちゃ美術館招待券（こども）500枚を来場者に配布 ④木工教室ブース ⑤令和7年今治市林野火災復旧復興ブース (2) 本会場 1,340 県内外からの招待者に対し、今治市の特産品を大会参加記念品として配り、今治市のPRを行うもの 招待者への大会参加記念品（今治タオル等） 3月に実施するボランティア植樹等の取組みを全国からの来場者に発信			
○	47 森林Jクレジット創出事業【農林水産課】 2,815 市有林資源の有効活用に向けて、太陽石油（株）と協働で整備している「今治市太陽が育む森」のフィールド等において、森林Jクレジットの創出を目指すもの <Jクレジット創出の目的> 適切な森林管理によるCO2吸収量をJクレジットとして認証、売却することで実質的な整備コストの一部を回収でき、更なる森林整備に充てることができる			

<p>(1) 森林経営計画策定 Jクレジットの認証を受けるために必要となる森林整備施業地における森林経営計画を策定するもの</p> <p>(2) プロジェクト計画書作成 Jクレジットの認証を受けるために必要となる事業の目的、実施内容および管理方法等を明記したプロジェクト計画書を作成するもの [スケジュール] R7年度 Jクレジット可能性調査 R8年度 計画書作成 R9年度 審査機関への申請 R10年度 Jクレジット販売(以降4～5年毎に販売)</p>				
<b>&lt;「住み続けられる」魅力あるまちづくり&gt;</b>				
<p>◎ 48 いまばり観光振興リ・デザイン2026【観光課】 8,000</p> <p>社会情勢の変化等を踏まえ、コロナ禍を経て多様化・高度化する観光ニーズに対応するため、R3年度に策定した現行の観光振興計画を見直し、官民連携のもと、実効性の高い観光施策の方向性やターゲットの再設定を行うもの (具体的な改訂内容) ①訪れる人も、住む人も笑顔に 最新の観光統計や宿泊データを分析・活用し、訪問者の属性や行動の把握によるターゲティング強化等を行い、観光客に選ばれるまちとなり、市民にとっても誇りを持てるまちとなること目指す ②「また来たい」を生む仕組みづくり 事業の目的と効果を明確化するため、KGI/KPIの再設定・重点施策を決定し、効果的な施策展開のため観光協会を含む各団体の役割を整理</p>				
<p>◎ 49 「汝、星のごとく」プロモーション事業【観光課】 7,000 国1/2 3,500</p> <p>R8年度公開予定の今治しまなみエリアが舞台となる映画「汝、星のごとく」の映画公開に合わせて各種プロモーションを実施することで、市内各所のロケ地を観光資源化し、誘客促進を図るとともに市民の地域理解の深化と郷土への誇りの醸成につなげるもの 《事業内容》 ①ロケ地巡りを促す導線づくり及び認知度向上と話題性の創出に資する取組(想定)ロケ地マップ(紙媒体)、ポスター、チラシの企画・制作等 ②情報発信基盤整備に資する取組(想定)各種ノベルティ・特設Webページの制作等 ③市内回遊性の向上及び滞在時間の延伸並びにこれらに伴う観光消費額増加に資する取組(想定)ロケ地マップ一体型スタンプラリー、映画ファンのためのコラボカフェ等</p>				
<p>◎ 50 プレミアムインバウンドツアー造成事業【観光課】 20,000 諸収入 12,000</p> <p>インバウンドの更なる誘客促進を目指し、本市観光資源を活かした新たなインバウンド向けツアーの造成及びナイトタイムエコノミーの基盤構築に取り組むことで、滞在型観光の推進へと繋げるもの 《事業内容》 ①通過型体験者へのプレミアムコンテンツ造成事業 ②インフルエンサー・ファムトリップ事業 ③紹介サイト、動画構築事業 ④ナイトタイムエコノミーを含むエリア、滞在先でのイベント事業 ⑤ガイド人材育成(地域通訳案内士へのブラッシュアップ研修) (造成ツアー展開に向けたスケジュール) ①サイクリングしまなみ2026において一部ツアーの実証 ②Velo-city(自転車国際会議)2027の参加者を中心に造成ツアーの実施 ③民間事業者によるインバウンドへのツアー展開</p>				
<p>☆ 51 インバウンド観光交流推進事業【観光課】 6,000</p> <p>愛媛・韓国経済観光推進協議会が実施する韓国国内プロモーション事業に参画し、松山空港発着の国際利用者を対象とした今治・しまなみエリア周遊バスツアーを実施するとともに、韓国国内において、今治市に特化した「旅マエ」情報の発信を行うことで誘客促進を図るもの</p>				
<p>○ 52 インバウンド受入体制整備事業【観光課】 1,500 国 臨時交付金 1,500</p> <p>インバウンド受入環境の整備に取り組む市内事業者を支援することで、本市を訪れる外国人観光客等の利便性や快適性の向上を図り、誘客促進や多文化共生社会の実現に向けた環境整備を促進しようとするもの 補助対象者 市内の飲食事業者、宿泊事業者、交通事業者 補助率 1/2(1件につき上限150千円) 補助対象経費 ①自社ホームページ等の多言語化表記に係る費用 ②翻訳機や電子決済機器の導入費用(運用費用は除く) ③グーグルビジネスプロフィール等登録代行料 ④無料公衆無線LAN環境の整備費用 ⑤ハラル、ビーガン対応費用</p>				

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

★ 53	<b>今治港クルーズ船おもてなし事業 [港湾漁港課]</b> 令和7年度に引き続き、国際クルーズ船の寄港が予定されているため、おもてなし事業を実施し、中心市街地のにぎわいに繋げるとともに、「瀬戸内の世界都市・今治」の実現に寄与しようとするもの ヘリテージ・アドベンチャラー 船籍 ポルトガル 乗客人員 140人 全長 122m 総トン数 8,445 t 入港予定 令和8年6月9日(火)	1,000	諸収入	500	(ふるさと納税重点活用事業)
★ 54	<b>鈍川温泉“ゆ”ノベーション推進事業</b> 令和6年度に官民一体となって設立した玉川地区ランドデザイン推進協議会を核として、官民連携を一層強化し、鈍川温泉を中心とする玉川地区の魅力向上と地域活性化を戦略的に推進するもの (1) サインデザインの統一 [観光課] 50,000 玉川地区の玄関口や主要動線において、シンボルサイン・道標・景観型ガードパイプを一体的に整備することで、地区の統一感あるイメージを形成し、来訪者にとって分かりやすく、安心して鈍川温泉郷の自然を堪能し、周遊できる環境を整えるもの 施工内容 シンボルサイン設置 N=1箇所 車両誘導サイン改修 N=3箇所 景観型ガードパイプ改修 L=908m (2) 観光まちづくり推進事業 [観光課] 2,000 「玉川みらいプロジェクトスローリバース」が取り組む玉川地区の活性化事業を支援するもの。令和8年度は、足湯出店による泉質PRの継続の他、渓谷ヨガやPOLAとの取組みを活かした商品造成、鈍川米を使った商品開発を実施予定 【参考】令和7年度に鈍川温泉の手湯や足湯ブース出展によるPR(渋谷サクラステージ「IMABARI広場」、今治ペダル、里山マラソンなど)、鈍川PR動画作成など (3) 鈍川渓谷周辺もリエリア整備 [農林水産課] 2,000 渓谷沿い遊歩道の枯木伐採や階段・看板修繕、ウッドデッキ等の整備を行い、景観及び歩行者の利便性・安全性を向上させるとともに、森林の癒し効果を発揮しようとするもの	54,000	繰入金	25,000	
★ 55	<b>亀老山展望公園整備事業 [公園緑地課]</b> しまなみ海道沿線を中心に国内外からの来訪者が年々増加傾向にある中、建造後30年が経過する亀老山展望台について、隈研吾氏監修のもと、観光スポットとしてリニューアルを図ろうとするもの アプローチ・展望台改修工事 大島石モニュメント設置工事 サイン設置工事等	78,500	市債	78,500	
<b>IV 輝く『まち』に～「今治時間」のあるまちへ～</b>		3,120,513千円			
<「瀬戸内の世界都市」づくり>					
◎ 56	<b>今治版MICE施設の整備 [海事都市今治推進課] ※35(1) ③再掲</b>	36,568	(ふるさと納税重点活用事業)		
◎ 57	<b>愛媛大学今治サテライト設置等支援事業 [海事都市今治推進課]</b> 今治地域の海事産業を再び成長産業へと導くため、今治地域地場産業振興センターに知と技術と人の交流拠点として施設整備を行い、デジタルやロボットなどの先進技術に関する産学共同研究や高度海事人材育成を進めるもの (1) 今治海事エコシステム構築プロジェクト推進補助金 495,731 対象期間 令和8年度～令和12年度(5年間) 参画機関 今治市、愛媛県、愛媛大学、今治造船株式会社、株式会社新来島どっく、BEMAC株式会社 他 ① デジタル・ロボット技術の活用、次世代船開発のための新技術基盤の構築(大学、海事産業) 486,581 外部の専門人材を招聘し、海事産業の課題解決に向けた研究開発 ② 海事人材育成エコサイクルの構築(地場産施設改修設計) 7,150 海事教育研究の中核機関として、愛媛大学今治サテライトを整備 ③ オープンイノベーションによる新ビジネスの創出(大学) 2,000 スタートアップ企業と海事産業界とのマッチング機会を創出	495,731	国1/2・2/3	328,961	市債 3,200

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

<参考>

R8年4月 愛媛大学工学部工学科海事産業特別コース新設  
R8年度 今治地域地場産業振興センター改修設計  
R9年度 今治地域地場産業振興センター改修工事予定  
R10年4月 愛媛大学工学部工学科海事産業特別コース3年次(約20名)から  
今治サテライトにおいて修学開始

(2) 海事人材育成推進プロジェクト 5,500 国1/2 2,750  
海事産業に対する興味・関心を高めることをきっかけとして、将来的な海事産業の人材確保に繋げようとするもの  
対象 ①小学生、②中高生、③大学生・高専・民間企業  
事業内容 ア 各世代にマッチしたイベントの実施  
イ 海のロボコン開催に向けた検討

58 瀬戸内の世界都市・今治を担う子どもへの英語学習環境の充実

(ふるさと納税重点活用事業)

「瀬戸内の世界都市・今治」の実現に向け、就学前から高校まで子どもたちに発育段階に合わせた英語の学習環境を提供し、次世代を担う子どもたちのグローバルな感覚をより一層育もうとするもの

★ (1) 就学前 913  
①イングリッシュティーチャー派遣事業 [保育幼稚園課] ※11(6)再掲

★ (2) 小学校  
①英語力向上今治メソッド推進事業 [教育大綱推進課] ※13(1)再掲 1,877  
②ALT(外国語指導助手)の充実 [教育大綱推進課・学校教育課] 276,644  
※13(2)再掲  
③イングリッシュキャンプ(デイキャンプ)の開催 [教育大綱推進課] 5,944  
※13(3)再掲  
④学習支援・ドリルソフト等導入事業 [学校教育課] ※12(2)再掲 30,223  
⑤英語力向上支援事業 [学校教育課] ※13(5)再掲 14,400

★ (3) 中学校  
①英語力向上今治メソッド推進事業 [教育大綱推進課] ※13(1)再掲 1,877  
②ALT(外国語指導助手)の充実 [教育大綱推進課・学校教育課] 276,644  
※13(2)再掲  
③イングリッシュキャンプ(ステイクキャンプ)の開催 [教育大綱推進課] 5,944  
※13(3)再掲  
④学習支援・ドリルソフト等導入事業 [学校教育課] ※12(2)再掲 30,223  
⑤英語力向上支援事業 [学校教育課] ※13(5)再掲 14,400

★ (4) 高等学校 ゼロ予算  
①各市内高校へのALT派遣 ※13(7)再掲

◎ 59 今治港富田ふ頭における一体的な保安対策の更新業務 [港湾漁港課] 2,488  
国際港湾施設である今治港富田ふ頭において、老朽化した設備(照明・カメラ・センサー・スピーカー等)の更新と警備業務を一体的に行う体制を確保し、国際条約で義務付けられている保安対策を講じるもの  
令和8年度 保安設備の設計  
令和9年度 保安設備の更新  
令和10年度～ 警備業務・保守点検等(10年間)  
<債務負担行為予算>918,854千円(R8~R19年度)

<アート&カルチャー&スポーツで夢中になれるまちづくり>

[自転車関係]

60 サイクルシティIMABARIのパワーアップ

(ふるさと納税重点活用事業)

★ (1) サイクルシティ推進事業 [サイクルシティ推進課] 6,000  
官民一体となって自転車の活用推進と安全安心な利用環境を整え、しまなみ海道を核とした地域の活性化により「サイクルシティIMABARI」の推進を図ろうとするもの  
①「愛媛サイクリングの日」と連動したサイクリングイベント運営  
サイクルシップを活用した呉市との連携イベント  
②外国人向けしまなみ海道サイクリング体験及び交通安全教室  
③しまなみサイクリング情報等発信「ササ飯(サイクリング×サウナ×ご当地グルメ)」のPR  
④サイクルフィットネス事業(R6 TURE-TECH発案事業)  
⑤ファーストバイクスクール事業  
⑥幼児2人同乗用自転車貸出 ※貸出回数 10台⇒15台に拡大

(2) グレーターしまなみ・えひめ推進協議会 [サイクルシティ推進課] 4,437  
広域サイクルツーリズム圏域「グレーターしまなみ・えひめ」(GSE)を形成し「滞在型」観光への転換促進と実需の創出を図る(県市町連携事業)

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

◎	(3) 瀬戸内しまなみ海道活性化実行委員会 (県市町連携事業) [サイクルシティ推進課]	3,220		
	①中学生を対象とした自転車安全教育のモデル実施 市内モデル校においてトヨタ・モビリティ基金のビックデータを活用した危険箇所の検証を実施し、自転車安全教育実施・安全利用ガイドブックを作成	2,500		
	②増加するインバウンド対策 (サイクリストマナー啓発)	720		
○	(4) サイクリングしまなみ2026 [サイクルシティ推進課]	70,970	基金繰入金	33,735
	①「サイクリストの聖地」しまなみ海道の本線を走行する 国際サイクリング大会の開催 開催日 R8.10.25 (日) 開催場所 瀬戸内しまなみ海道及び周辺地域 (全8コース) 参加人数 7,000名程度 総事業費 約600,000千円 (愛媛県、広島県等負担額含)			
	②参加者へのおもてなし 今治市内のみで使用できるデジタルクーポンを配布			
☆	(5) サイクルライフ促進事業 [サイクルシティ推進課]	13,400	国 臨時交付金	13,400
	①幼児及び高齢者 自転車用ヘルメット利用促進事業 補助内容 自転車用ヘルメット購入費用を補助 補助率 1/2 補助上限 3,000円			
	②小学生・中学生 中学校就学自転車等購入支援事業 補助内容 小学6年生を対象に自転車、ヘルメットの購入や修繕等にかかる経費に使用可能なクーポンを配布 (前年度申請されなかった中学1年生も交付申請が可能) クーポン 10,000円分			
	③市内の高等教育機関 (大学、短期大学、専門学校等) 自転車用ヘルメット利用促進事業 補助内容 自転車用ヘルメット購入費用を補助 補助率 1/2 補助上限 3,000円 ※着用率の更なる向上を図るため補助対象を拡大			
	④「自転車通勤推進企業」宣言企業 (※) 自転車用ヘルメット利用促進事業 補助内容 自転車用ヘルメット購入費用を補助 補助率 1/2 補助上限 従業員1人あたり3,000円 1企業の補助上限100千円 ※着用率の更なる向上を図るため補助対象を拡大			
	(※) 自転車通勤を導入する企業・団体を自転車活用推進本部長 (国土交通大臣) が認定し、自転車通勤の取組を広く発信するもの			
◎	(6) サイクルシティ (自転車都市×循環型都市) ブランド強化事業 [サイクルシティ推進課] 廃棄予定ヘルメットをベンチやサイクルスタンド等、アートと実用性を兼ね備えた「街の家具」として再生する新たなプロジェクトを実施し、本市の環境先進性を国内外に向けて強く発信するとともに、プロジェクトの記録映像を作成し、Velo-city2027などにおいて公表することで「サイクルシティIMABARI」のブランド価値をより一層高めようとするもの	20,000	国1/2	10,000
	(7) サイクリストに優しい道路環境整備 [道路課]			
	①自転車通行空間整備事業 今治駅からしまなみ海道までの自転車通行空間整備による快適な通行環境の確保 ・市道北宝来近見線道路改良工事 工期：R4年度～R8年度 (R9.3月完了予定) ・市道今治駅北浜町線道路改良工事 工期：R8年度 (R9.3月完了予定) ※完成予定時期 Velo-city2027開催までに完成予定	203,000	国5.5/10 市債	110,000 81,900
	②市単独道路舗装事業 サイクリストの安全確保のため、路面の不良箇所を緊急的に補修 ・市道大新田大浜線 (舗装改良) 工期：R7年度～R8年度 (R8.9月完了予定)	19,000	市債	19,000

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

<b>61 Velo-city2027機運醸成事業</b>			
◎ (1) Velo-city2026 (イタリア) での今治市のPR [サイクルシティ推進課] Velo-city2026 (イタリア) にて愛媛県と連携し、しまなみ海道や今治市の魅力をPRすることで、翌年度の愛媛開催において今治市への誘客促進を図ろうとするもの ※Velo-city (自転車国際会議) 2026 Rimini開催 (2026年6月16日~19日)	200		
◎ (2) 国際水準の受入環境整備 [サイクルシティ推進課] Velo-city2027や増加するインパウンドへの対応として、トヨタ・モビリティ基金等と連携し、誰にとっても分かりやすいピクトグラム等を用いた案内標識や路面標示を設置しようとするもの (工事概要) サイクリング観光客の通行量が多いルート(市道北宝来近見線、市道今治駅北浜町線)上、交通事故が多い交差点、海外のサイクリストが走行方法を迷う箇所、通学路等に設置 ※Velo-city (自転車国際会議) 2027愛媛県開催 (2027年5月25日~28日)	5,000	国1/2	2,500
◎ (3) プレミアムインパウンドツアー造成事業 [観光課] ※50再掲	20,000	諸収入	12,000
<b>[スポーツ関係]</b>			
<b>62 里山スタジアムを核としたにぎわい創出事業</b>	30,500		(ふるさと納税重点活用事業)
官民一体となって立ち上げた「今治市里山にぎわい創出協議会」を核として、里山エリアとその周辺地域における「365日のにぎわい」を創出しようとするもの (協議会構成団体) (株)今治・夢スポーツ、イオンモール今治新都市、今治しまなみスポーツクラブ、せとうちみなどマルシェ実行委員会、玉川みらいプロジェクトスローリバース、今治市			
(1) にぎわい創出に資する環境整備 [スポーツ振興課] 階段設置、ラウンドアバウト植栽、スポーツパーク(サッカー場)の無料開放実証(月1回、平日午前)、里山エリアマップ印刷	3,000		
◎ (2) 持続可能なにぎわいの創出に向けた取組み [地域振興課・スポーツ振興課] FC今治のJ1昇格を見据えた中での交通量の増加や駐車場不足への対応やエリアの更なる活性化に向けた事業を実施 ①シャトルバス運行支援 ホーム戦時に今治駅前~イオンモール新都市までのシャトルバスを増便(バス運賃:往復500円) ②バス乗客へのインセンティブ付与 バス利用者チケットを発行するとともに、イオンモール今治新都市で利用可能な特典引換券(1,000円)を配布	27,500		
◎ <b>63 FC今治サッカー専用スタジアム整備等事業費補助金(ふるさと納税制度活用事業) [スポーツ振興課]</b>	500,000	基金繰入金	500,000
今治市「FC今治サッカー専用スタジアム建設等」プロジェクト(※)に基づき、R7年度中に寄附のあったふるさと納税を活用し、スタジアム増設や周辺整備に要した費用の一部を助成しようとするもの 事業主体 (株)今治・夢ビレッジ 事業内容 事業主体が行うFC今治サッカー専用スタジアムの増設やその周辺整備について、その経費の一部を助成 (※)企業版ふるさと納税制度の期間延長を受け、「FC今治サッカー専用スタジアム建設等」プロジェクトも延長して実施。 期 間: 令和2年度~令和6年度 ⇒ 令和2年度~令和7年度 (令和9年度末まで延長予定) 目標額: 10億円 ⇒ 23億円 (参考) FC今治サッカー専用スタジアム建設等プロジェクト実績 寄附金累積額 1,193,096千円 (R7.12月末時点) 補助金累積額 951,493千円 (R7.12月末時点) 今治市基金積立額 99,598千円 (R7.12月末時点) 今治市基金活用実績 スポーツトラクター購入、スポーツ備品等購入事業費補助金、子ども体力向上対策事業など19,079千円 FC今治補助金活用実績 里山スタジアム建設費用40億円の一部 今後の補助金活用予定 里山スタジアム周辺整備費用(下記)の一部として ・観客席増席(5,300→8,900) 約900,000千円 ・大型映像装置 約137,005千円 ・市民交流スペース 約200,000千円 等			

64	<b>ジュニアアスリート競技能力向上プロジェクト [スポーツ振興課]</b> 市内の小学生を対象とした身体可動域の拡大や筋力向上を図るプログラムを実施することで、中学生期以降の一層の競技能力向上につなげ、未来のアスリートを育成しようとするもの 対象者 市内の小学6年生 対象人数 30名程度 内容 個々の基礎能力のデータ分析 運動能力開発に特化したトレーニング・エクササイズ 選手および保護者向けの栄養学、医科学、テーピング講習 実施場所 市内スポーツ施設 実施期間 令和8年6月～令和9年3月	3,700	
○	<b>65 モルックアジア大会の開催 [スポーツ振興課]</b> 国内外から300を超えるチームの参加が見込まれるモルックアジア大会を西日本で初めて今治市営スポーツパークを会場として開催しようとするもの 開催日 令和9年1月上旬予定 開催場所 スポーツパーク 市負担金 4,000千円(大会運営費及び参加者へのおもてなし) 参加者 300チーム1,200人 出場国 日本・韓国・台湾・香港・インド・オーストラリアなど (その他モルック関連事業) モルック今治オープン(今治市内での普及促進) 開催日 令和8年4月上旬予定 開催場所 今治市営球場補助グラウンド 市負担金 1,000千円 参加者 80チーム240人	4,000	
☆	<b>66 eスポーツ普及促進事業 [スポーツ振興課]</b> 幅広い年齢層が参加できるeスポーツの普及により、魅力あるまちづくりの推進、新しい交流を生み出そうとするもの ①こどもが真ん中フェスタeスポーツ体験 VR体験、インスタコード、ドローンレース ②みなとマルシェeスポーツ大会 マインクラフトで船づくり ③高齢者生きがいつくりeスポーツ体験 脳と身体を元気にするゲーム体験	1,815	
◎	<b>67 競い・愉しみ・繋がるスポーツ施設の整備・維持 [スポーツ振興課]</b> (1) 玉川総合運動公園設備更新工事における発注支援業務 グリーンピア玉川の体育館空調改修および照明LED化に向けて、事業方式の検討や市場調査等にかかる専門家の支援体制を構築するもの (参考) 概算工事経費340,000千円	6,820	
◎	(2) 桜井スポーツランドトイレ設置工事 既存の水洗汲み取り式トイレの衛生環境を改善させるため、合併浄化槽を用いたトイレを新設しようとするもの	52,000	
[芸術・文化関係]			
◎	<b>68 国民文化祭今治市準備検討委員会(仮称) [文化振興課]</b> 令和10年度に愛媛県で開催される国民文化祭に向けて、各種企画・検討を担う準備検討委員会を発足させるもの	512	
☆	<b>69 世界のTANGe魅力創生事業 [文化振興課]</b> (1) 国登録有形文化財(建造物)の登録に向けた国への意見具申 313 丹下建築の保存とさらなる活用に向けて、市庁舎本館・公会堂・市民会館の国登録有形文化財の登録を目指すもの (2) 丹下健三建築サポーター養成ワークショップ&講演会 763 丹下健三建築の魅力を伝える市民サポーターの育成を目的として、キッズワークショップや大人向け講演会・見学会などを開催するほか、マンガを増刷し、ワークショップ・講演会参加者に配布しようとするもの (3) 世界のTANGeビジターセンター機能および情報発信の強化 3,785 丹下建築紹介パンフレットの作成、マンガ英語版(WEB)の制作・発信、丹下健三特設WEBサイトの管理、ビジターセンター(市民会館)に常設展示品を設置	5,911	(ふるさと納税重点活用事業)

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

	(4) 国際的な建築祭との連携に向けた取組 既存の国際的な建築祭と連携した「TANGE Architectural Festival2028 (仮)」 の開催に向け関係機関との調整を開始するもの	50		
	(5) 建築美術のまちめぐりツアー 丹下健三建築を始めとした有名建築家が手がけた現代建築をめぐるツアー造成に 取り組むとともに、建築を学ぶ大学生等を対象としたスタディツアーを開催する もの	1,000		
70	<b>文化芸術未来×ウェルビーイングプロジェクト [文化振興課]</b> 子どもや若者が文化芸術に親しむ機会や市民のアートを通じた「社会参加」の機 会を創出することで、次世代の芸術家の育成や市民の「心の健康」、「幸福感」 の醸成を図ろうとするもの	9,253	国1/2	4,314
	(1) 文化芸術未来講座 国内外で活躍する郷土出身アーティストによる本物の芸術に触れる特別な体験を 提供することにより、文化芸術に身近に親しむ機会を創出するとともに、地域を 支える子どもたちのクリエイティブな発想力や表現力を育むもの 《事業内容》 郷土出身アーティストによる講座（ワークショップ・出前講座）・作品公開 テーマ（予定）写真・絵画・文学・書道・アニメーション等	1,388		
	(2) 市民向け音楽ワークショップ 瀬戸内し・ま・の音楽祭によるミュージアムコンサート・ワークショップ	500		
	(3) 今治落語会学校寄席 有名落語家による学校寄席を開催することで、子ども達が日本の伝統芸能に触れ る機会を創出しようとするもの（陸地部・島しょ部 各1回）	1,660		
☆	(4) ひびのこづえアートプロジェクト 今治タオルのデザインを手掛けるひびのこづえ氏によるモノづくり×アートイベ ントを子どもが真ん中フェスタとの連携にて実施することで、今治ならではの文 化とモノづくりを体験できる機会を創出しようとするもの 《事業内容》 芝っち広場でのダンスワークショップ・パフォーマンス、 商店街でのモノづくりワークショップを予定	3,498		
	(5) 市民のための音楽コンサート 国内外で活躍するプロのアーティストによる生の演奏を聴くという特別な体験を 提供することにより、市民が文化芸術に親しむ機会を創出	2,207		
◎	71 <b>今治城権群への河野美術館機能移転事業 [文化振興課]</b> 河野美術館の解体を契機として、今治城に河野美術館の機能及び収蔵品の移転を 行い、その一部を展示することで、文化財保存体制の強化と、文化・観光・交流 が連動する文化拠点の形成、港～城における人の流れの創出を一体的に推進しよ うとするもの 収蔵庫什器整備、事務所・調査室改修、バリアフリー整備等により文化財保存 と来館者受入の基盤を整備	62,202	国1/2	31,101
◎	72 <b>「村上海賊」日本遺産認定10周年記念事業 [文化振興課]</b> 日本遺産認定10周年を契機として、村上海賊の更なる認知度向上による関係人口・ 交流人口の拡大と地域住民の愛着醸成による基盤強化を図り、日本遺産村上海賊 の魅力創生に繋げようとするもの 《事業内容》 ①せとうちみなとマルシェ×海賊フェス（稼ぐ取組み） ア ファミリー向け体験型プログラム イ 日本各地の海賊・水軍の歴史専門家によるトークセッション ウ 海賊ゆかりの団体によるブース出展 エ マルシェ会場から今治城・市街地を巡るスタンプラリー ②村上海賊魅力発信推進協議会（尾道市連携）事業（基盤強化の 取組み） ア 地域で活動するステークホルダーによるトークセッションとシンポジウム イ 今治市・尾道市複数会場での企画展及び周遊スタンプラリー ウ 村上海賊の「ゆかりの地」を巡るツアー ツアー内容：村上三家の本拠地「因島・能島・来島」をクルーズ船で周遊 エ 「特色のある城」を有する他地域の小学生とのオンライン交流事業 オ 次の10年へ向けた更なる情報発信・普及啓発の強化と村上海賊の 魅力向上に資する調査研究の推進	9,326	国1/2 諸収入	2,000 2,000

(ふるさと納税重点活用事業)

- ③日本遺産村上海賊わくわく大冒険 519  
日本遺産の構成文化財をめぐる子ども向けスタディツアー
- ④村上海賊ミュージアム日本遺産10周年記念特別展 807  
日本遺産構成文化財の寺院に収蔵されている宝物の特別公開等

<公共交通ネットワークの再構築>

73 地域公共交通活性化事業【地域振興課】

バス・タクシー・鉄道・船舶に新たな交通サービスを加え、誰もが利用しやすく持続可能な公共交通体系の実現を目指し、新設する専門部署のもと、「市民の足を空白にしない」新たな公共交通ネットワークの構築を強力に進めるもの

(1) 地域公共交通活性化協議会

持続可能な地域公共交通ネットワークの構築、市民の足となる新たな交通システムの調査研究・導入を実施するもの

22,311

- ◎ ①地域公共交通アクションプランの策定 500  
令和7年度に策定した「地域公共交通計画」を着実に実行するため、交通事業者、有識者と協力し、実現及び持続可能なアクションプランを策定し、交通空白地域解消に向けた実証事業の検討を実施
- ②乗合タクシー運行 11,326  
朝倉、玉川、菊間、吉海地域において廃止された路線バスに代わる公共交通として運行するもの
- ③チョイソコおおみしま運行 ※9(7)再掲 9,914  
上浦地域及び大三島地域(宮浦・台)の一部において廃止された路線バスに代わる公共交通として運行するもの
- ④その他 571  
バス乗り方教室、公共交通マップの作成及び協議会運営費

(2) 第二種免許取得支援事業

運転手を確保するため新規採用時の第二種免許取得費用を負担している事業者に対し助成

500

助成内容 バス : 教習費用×1/4 (上限125千円) ※事業者への国補助1/2 (上限250千円)  
タクシー: 教習費用×1/4 (上限75千円) ※事業者への国補助1/2 (上限150千円)

- ◎ (3) タクシー地域アプリ導入等支援事業費補助金 ※3(5)再掲 16,700 国 臨時交付金 16,700
- ☆ (4) 伯方島公共ライドシェア実証運行事業費負担金 ※9(6)再掲 8,000 国 臨時交付金 8,000  
令和7年度に実施した公共ライドシェア実証運行の検証・分析を踏まえ、運行内容の改善を行い、伯方地域の実情に合った最適な公共交通の導入に向けた実証運行の実施を支援するもの  
事業者 伯方島モビリティコンソーシアム  
実施期間 令和8年4月～令和9年1月

<「ゼロカーボンシティ・今治」の推進>

☆ 74 脱炭素先行地域推進事業【環境政策課】

令和7年度に環境省から「脱炭素先行地域」に選定されたことから、国の支援を活用しつつ、地域特性に応じた脱炭素化に向けた取組を推進する事業を総合的に展開しようとするもの

- ☆ (1) 脱炭素先行地域づくり事業費補助金 143,494 国10/10 143,494  
しまなみ海道ブルーラインメインルート沿線上(以下、「脱炭素先行地域」という。)の家庭、事業所及び今治タオル産業界に対して、再エネ等設備導入に必要な経費を支援するもの
- ①家庭向け再エネ設備等パッケージ導入支援補助 57,468  
補助対象者 脱炭素先行地域内の一般住宅  
補助率 2/3  
補助対象経費 再エネ設備等をパッケージとして導入する際の費用  
ア 太陽光発電設備又はソーラーカーポート  
イ HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)  
ウ 蓄電池+給湯機
- ②事業所向け再エネ設備等導入支援補助 46,026  
補助対象者 脱炭素先行地域内の事業所  
補助率 2/3  
補助対象経費 再エネ設備等を導入する際の費用  
ア 太陽光発電設備  
イ 蓄電池 ※太陽光発電設備と合わせて導入する場合のみ  
ウ 充放電設備

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

③今治タオル産業群向け太陽光発電設備導入支援補助 補助対象者 今治タオル産業群（タオル・染色・捺染の組合加盟企業） 補助率 2/3 補助対象経費 太陽光発電設備を導入する際の費用	40,000		
◎ (2) 公共施設への太陽光発電設備等の設置 脱炭素化を推進するため、レンタサイクル施設に太陽光発電設備や蓄電池を導入するほか、伯方島最終処分場跡地を活用し、大規模太陽光発電設備を導入するもの 対象施設 サンライズ糸山、今治駅前サイクリングターミナル、 伯方最終処分場跡地 ＜債務負担行為予算＞ 321,894千円（R8年度～R10年度）	108,603	国10/10	108,603
○ (3) 脱炭素化等資金利子補給金 脱炭素先行地域内の事業所又は今治タオル産業群の事業所が愛媛県の実施する脱炭素化等資金融資を活用する場合に金融機関に支払う利子相当分を支援するもの 対象となる借入限度額 50,000千円 対象となる借入期間 10年以内 補助率 10/10（利率1.7%のうち、愛媛県が1.4%、今治市が0.3%を支援） 取扱い金融機関 愛媛県の指定する市内金融機関	683		
○ (4) ゼロカーボンシティ事業費 ※2 (3) 再掲	25,000	国 臨時交付金	25,000
◎ 75 省エネ家電等普及促進事業【環境政策課】 ※2 (2) 再掲	92,524	国 臨時交付金	92,524
76 新エネルギー等関連設備導入支援【環境政策課】 燃料電池や蓄電池、ZEH、HEMS、EV自動車といった新エネルギー等関連設備の導入に必要な経費を支援するもの 〔設備種別（補助金上限額）〕 燃料電池（90千円） 蓄電池（90千円） ZEH（300千円） HEMS（15千円） ※R7年度から対象設備等に追加 EV自動車（200千円）	35,000	国 臨時交付金 県1/2・1/3	21,250 13,750
◎ 77 公共施設LED化推進事業 【環境政策課、障がい福祉課、こども未来課、保育幼稚園課】 公共施設のうち、電気代の削減効果が高いと見込まれる施設について、令和8年度以降、照明機器のLED化を加速化させ、管理コストの抑制を図るとともに、エネルギー使用量の削減に取り組んでいくもの 整備手法：簡易型ESCO方式（ギャランティード・セイビングス契約方式） ※受託者が設計施工を行い、整備資金を市が負担。受託者はエネルギー削減効果を保証し、電気代の削減を実現 対象施設：R8年度：サン・アビリティーズ今治 外16施設 R9年度：村上海賊ミュージアム 外12施設 ＜債務負担行為予算＞ 124,313千円（R8～R9年度）	59,231	市債	53,300
78 防犯灯のLED化加速化事業【市民参画課・しまなみ振興課】 自治会等が行うLED防犯灯の新設・交換を支援することで、エネルギー使用量の削減に取り組むもの（R7年度から予算規模を拡大） R6年度末進捗率 41.6% ⇒ R11年度末100%（目標）	36,706	国 臨時交付金	36,706
<「しまなみ海道通行料実質無料化」対応の加速>			
◎ 79 島しょ部通行料金助成事業 ※2 (1) 再掲	87,000	国 臨時交付金	87,000
80 しまなみマーケット【しまなみ振興課】 ※実質無料化 せとうちみなとマルシェの雰囲気や島しょ部においても楽しむことができるよう、島しょ部地域ならではの特産品等をはじめ、しまなみの魅力を発信する「しまなみマーケット」を3島（大島、伯方島、大三島）にて開催するもの	3,000	市債	3,000

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

## 81 しまなみ海道の利用促進と通行料負担軽減

★

## (1) 利用促進の取組

亀老山展望公園整備事業〔公園緑地課〕※55再掲	78,500	市債	78,500
サイクリングしまなみ2026〔サイクルシティ推進課〕※60(4)再掲	70,970	基金繰入金	33,735
日本遺産認定10周年記念事業〔文化振興課〕※72再掲	9,326	国1/2	2,000
		諸収入	2,000
しまなみマーケット〔しまなみ振興課〕※80再掲	3,000	市債	3,000

## [参考] 利用促進策の経過(主なもの)

- R3 しまなみ海道利用促進に向けた調査検討事業  
しまなみ海道自転車道の利用促進  
・サイクリングイベント出展、外国人対象のサイクリング体験会  
移住交流推進事業  
イマ宿泊観光クーポン事業
- R4 しまなみアートミュージアム魅力発信事業  
修学旅行宿泊誘致促進事業  
うみ・やま・しま今治体験型観光プログラム創出事業  
第1回今治クリテリウム
- R5 関係団体との協議  
ワーケーション推進事業  
しまなみ広域サイクルツーリズム圏域形成協議会の発足  
しまなみ魅力化推進事業(亀老山展望公園周辺整備)
- R6 スポーツ文化ツーリズム体験型プログラム造成促進事業  
地域人材交流支援事業  
しまなみ学び・交流の場事業(しまなみテクノロジー市民大学講座)  
伯方島トライアスロン  
第2回今治クリテリウム
- R7 しまなみマーケット

## (2) 通行料実質無料化の方策

オンライン手続きの拡充等〔未来デジタル課〕※4(2)再掲	4,290		
しまなみの子どもを育む交通費支援事業 ※11(8)再掲	30,060	県1/2	9,570
①子育て世帯に対する交通費支援		市債	19,250
②通学費助成事業(中学生、高校生、大学生)			
③医療・福祉サービス利用等に係る交通費支援 妊産婦健診等、出産サポートタクシー利用、障がい児通所支援利用			
しまなみマーケット〔しまなみ振興課〕※80再掲	3,000	市債	3,000

## [参考] 実質無料化施策の経過

- R1 島外から通学する生徒の交通費支援(定期代)
- R2 妊産婦の健康診査等の利用にかかる交通費支援(妊婦健診・乳児健診)
- R3 妊産婦の健康診査等の利用にかかる交通費支援  
(産婦健診・産後ケア・小児救急(休日・夜間))  
しまなみ海道通行料実質無料化に向けた調査検討事業  
(タウンミーティング開催、関係機関との協議)
- R4 しまなみ海道通行料実質無料化に向けた調査検討プロジェクトチームの設置  
妊産婦の健康診査等の利用にかかる交通費支援  
(母子保健事業(パパママ学級・こども療育相談・離乳食講習等))  
子育て世帯に対する交通費支援  
しまなみ海道通行料実質無料化に向けた調査検討事業  
・生活道としてのしまなみ海道の交通動向分析(ETCカード番号)  
・「しまなみ暮らし」アンケート調査(燃料クーポン券事業)  
ハイスペックブロードバンド基盤整備促進  
本庁・支所間オンライン相談機能整備事業  
オンライン診療導入事業
- R5 しまなみ海道通行料実質無料化に向けた調査検討事業  
・生活道としての通行料金負担軽減にかかる調査・検討  
子育て世帯に対する交通費(障がい児支援)  
ファミリー・サポート・センター島しょ部会員講習支援事業  
一時預かり拡充事業(伯方認定こども園)  
部活動の地域移行(休日の地域移行バス使用料)  
住民窓口の多様化モデル構築事業
- R6 「しまなみ海道通行料実質無料化推進会議」の設置  
オンライン申請フォーム作成支援業務  
住民窓口の多様化モデル事業費(移動市役所の実装)  
しまなみ健康塾  
障がい児通所支援事業所の利用にかかる交通費支援事業  
図書館資料貸出窓口の拡充
- R7 市内の大学等に通学する学生の通学費助成事業

<地域コミュニティの活性化>

82 今治みらい発掘プロジェクト事業[地域振興課]

(ふるさと納税重点活用事業)

(1) 地域むすぼうミーティング 3,585  
地域コミュニティの中での活動を実際に経験してきた今治みらい発掘隊や地域おこし協力隊の隊員がこれまでの経験や地域への想いを語る座談会を開催し、参加者との対話や交流を通じて、次の担い手を発掘・育成しようとするもの  
テーマ 「ヒトからつながる地域の未来」  
場所・回数 市内4エリア×2回(アーバン、フォレスト、シーサイド、アイランド)  
内容 地域住民をつなげる座談会  
地域のキーマン(発掘隊、市民有志など)の想いを語ってもらう場  
参加対象者 市民

★ (2) 未来へつなGO!今治共創プロジェクト 4,888

市民が中心となって新たな地域の賑わいを創出することを目的とした活動を、四国地域の活性化に取り組む「四国家サポーターズクラブ」と協働で支援するプロジェクト。令和8年度は、3年計画の最終年となることから、このプロジェクト内で生まれた活動を更にブラッシュアップして展開し、次年度以降の継続展開につなげようとするもの

①「いまここ青春祭2026」の開催

市内高校生が中心となって企画・運営を行うイベント「いまここ青春祭」を開催し、市内高校生同士の交流を促すとともに、四国家サポーターズクラブに参画する市内企業と10代の若者をつなぐお仕事フェスを開催  
開催時期 令和8年10月頃(予定)  
開催場所 芝っち広場

②市内高校生と呉未来塾(呉市)との交流事業

それぞれの市で高校生が主体となって開催するイベントにおいて、参加する高校生の相互の交流を促進するとともに、互いのイベントのブラッシュアップを目指すもの。  
今治市実施 「いまここ青春祭2026」 R8.10月上旬  
呉市実施 「KURE未来フェスタ」 R9.3月上旬

③「今治市公認探究部」伴走支援事業

いまここ青春祭2025にて高校生から提案のあった学校の垣根を越えた「今治市公認探究部」設立に向け伴走支援するもの

④今治四国家お宝FAMツアー

これまでに市民主体で造成した市内をめぐる旅行商品を発掘隊、地域通訳案内士、学生など自らが旅行事業者やインフルエンサーに対し、FAMツアーを通じて魅力を発信し、四国家のお宝ツアーの持続的で有効な展開を目指すもの  
(参考)

ア これまで市民主体で造成したツアー

R5 今治・伊予桜井地区観光ツアー(今治東中等教育学校生造成)  
R7 今治島めぐりツアー(今治みらい発掘隊など造成)

イ 四国家サポーターズクラブの活動経過

R6 「未来へつなGO!今治共創プロジェクト」始動に係る調査・準備(今治みらい発掘プロジェクト12等への参加)  
R7 いまここ青春祭2025の開催支援、今治島めぐりツアー

★ (3) 今治地域みらいまちづくり事業 12,000 市債 7,000

住民の創意工夫に基づき地域の自立的発展を目指すために実施される事業に対し補助金を交付

①単独地域事業(地域単独で行う事業) 6,000

補助率 8/10  
限度額 1,200千円

②広域連携事業(複数の地域(2地域以上)が連携して行う事業) 6,000

補助率 10/10  
限度額 3,000千円(2,400千円から拡大)

83 地域担当職員活動事業[地域振興課・しまなみ振興課]

11,500

担い手不足をはじめとする地域課題に対し、住民の取組を身近で支えるため、各支所に配置された地域担当職員が住民の活動に参画し、一緒になって課題解決に取り組むもの

地域担当職員 各支所 3名程度配置

各支所 1,000千円×11支所

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

V しやなかで強靱な『まち』に <安全・安心なまちづくり>		1,849,344千円		
84	<b>道路冠水箇所重点対策事業【道路課】</b> 近年頻発する大雨災害に備え、被害が集中している箇所へ対策工事を実施し、道路冠水や住宅地の浸水被害の軽減を図るもの 市道泉川北日吉町線 路側改良工事 一式	10,000	市債	10,000
85	<b>河川緊急浚渫推進事業【農業土木課】</b> 治水対策として、緊急浚渫推進事業債を活用し、河川に堆積した土砂等の浚渫を行うもの 上浦町二本松川 外2件 <債務負担行為予算>29,400千円(R8~R9年度)	19,600	市債	19,600
◎ 86	<b>治水施設緊急整備事業【農業土木課】</b> 昨今、激甚化・頻発化する豪雨への対策を強化するため、国が延伸した緊急自然災害防止対策事業債の制度を活用し、市内の老朽化したポンプ場や水路の改修等を計画的かつ集中的に行うもの。 (1) ポンプ場等改良工事 ①大西町新町ポンプ場 工 期：R8年度~R10年度 R8内容：土木工事 <債務負担行為予算>156,000千円(R8~R9年度) ②菊間町タカタポンプ場 工 期：R8年度 R8内容：土木工事、機械工事、電気工事、鋼構造物工事 ③杣田ポンプ場 工 期：R8年度~R12年度 R8内容：設計 ④中土手川ポンプ場 工 期：R8年度~R9年度 R8内容：設計 ⑤御物川遊水地 工 期：R8年度~R12年度 R8内容：設計 (2) 水路等改良工事 ①御物川河床 ②喜田村三反地川支川 ③虹ヶ淵支線5号水路 ④上浦町井口排水路 ⑤隅田支川5号水路	291,200	市債	291,200
87	<b>防災行政無線システム更新工事【防災危機管理課】</b> 災害など緊急時の住民に対する情報伝達手段である多重系システムや、J-A R E R T放送などを放送操作するデジタル同報系システムを更新し、併せて、将来的な新通信方式への対応を見据えた機能強化を図ろうとするもの [概要] 全体事業費：435,600千円 工 期：R7年度~R8年度	270,000	市債	270,000
<「地域ディフェンスカ」の強化>				
88	<b>地域防災計画・水防計画の改訂【防災危機管理課】</b> 近い将来発生が懸念されている「南海トラフ地震」や近年、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、県による南海トラフ地震被害想定調査の結果や中小河川の洪水浸水想定区域等の指定を踏まえ、本市の地域防災計画・水防計画等を改訂・更新しようとするもの ①地域防災計画・水防計画策定 ②地震・津波ハザードマップ作成(デジタル版) ③津波事前避難対象人数把握	14,818		

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

★ 89 避難所環境改善事業【防災危機管理課】 30,620 国1/2 11,072  
 近年頻発している複合災害や林野火災の検証結果を踏まえ、避難所の更なる環境  
 改善や物資・資機材を迅速な運搬体制の構築に取り組むとともに、外国人や高齢  
 者、障がい者など配慮を必要とする方が安心して避難できる環境整備を進めるもの  
 県1/3 2,939  
 市債 2,700

車載トイレ	2基	2,700
トラック（リフトゲート機能付）	1台	8,218
災害対応車	1台	6,182
多言語対応ピクトグラム避難所看板設置	141か所	1,400
ポータブルトイレ用手すり	29台	1,276
災害用トイレ TENT	4組	3,850
折り畳み式簡易ベッド	110台	3,000
車いす用可搬型スロープ	5組	694
カゴ台車	8台	600
発電機	5台	600
投光器	15台	2,100

★ 90 災害用備蓄物資の充足【防災危機管理課】 32,607

災害時に被災者に支給する食料品、毛布、マット、医薬品等の備蓄物資を想定避難者数に応じて計画的に確保し、供給体制の充実を図るもの

備蓄用食料の更新	26,400食
保存用飲料水の更新	2,280L
災害用備蓄毛布	3,000枚
エアーマット	3,840枚

自主防災組織支給品（発電機等）

その他（事務用品等）

※想定避難者数に応じた備蓄品を確保するよう整備を加速させるもの

災害用備蓄物資について

項目	目標数量	現備蓄数量
食料	1人：1日3食	94,110食 103,294食
飲料水	1人：1日1本（500ml）	31,528本 33,168本
小児用おむつ	1人：1日8枚	5,024枚 6,318枚
大人用おむつ	1人：1日6枚	5,087枚 5,994枚
生理用品	1人：1日8枚	14,068枚 16,920枚
ほ乳瓶	1人：5本	785個 2,968個
簡易トイレ	20人当たり1台	1,570台 1,570台
簡易トイレ便袋	1人：1日5回分	157,000回 157,400回
トイレトイペーパー	1人：1日8m（1ロール255m）	986ロール 4,205ロール

R7年度未予定

項目	目標数量	現備蓄数量
ラップ	指定避難所各50本	7050本 5280本
非常用給水袋	1人：1枚	31,400枚 9,450枚
食器セット	1人：1セット	31,400セット 24,533セット
日用品セット	1人：1セット	31,400セット 14,878セット
毛布	1人：1枚	31,400枚 14,716枚
マット	1人：1枚	31,400枚 9,459枚
カセットコンロ	指定避難所各3台	423台 2,968台
カセットボンベ	カセットコンロ1台当たり3本	1,269本 1,488本
救急箱	指定避難所各2セット	282個 178個

避難想定者数：31,400人

91 防災士育成事業【防災危機管理課】 2,093

(1) 防災士資格取得支援 1,893  
 防災活動の中心的な役割を担う防災士を養成することで共助の機能強化を図るとともに、平時から資格取得者に対し防災関連事業の実施時や災害発生時における活動への参画を促し、防災関係者のネットワークの強化やスキルアップを通じて、地域防災力の向上を図るもの

◎ (2) ジュニア防災士育成事業 200  
 次世代の防災人材育成のため、ジュニア防災士を育成するとともに、地域防災の担い手として継続的に関わる仕組みを構築し、共助力の向上を目指すもの  
 内容 防災士資格取得のための「ジュニア防災塾」の開催  
 資格取得後の訓練参加など防災事業への参加意欲向上のための認証制度の創設  
 対象者 小学生(高学年)～高校生

(ふるさと納税重点活用事業)

92 防災訓練の実施【防災危機管理課】 6,558

(1) 総合防災訓練の実施 5,558  
 防災関係機関、地域住民と一緒に参加する地震、風水害による災害を想定した防災訓練を実施することにより、防災意識の高揚を図るとともに、防災体制の一層の充実強化、応急対策の機能向上を図るもの

★ (2) 民間団体との連携による実動訓練 1,000  
 NPO法人や警察、自衛隊等との官民が連携した訓練を実施

<誰も取り残さない消防・救急体制の構築>

93 市民の生命・身体・財産を守る消防・救急基盤の整備

市民の生命・身体・財産を守るため、火災や救急事案に迅速かつ的確に対応できる体制を整備し、消防・救急機能の強化と安全安心なまちづくりを実現するもの

(ふるさと納税重点活用事業)

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

★	(1) 常備消防 [消防本部総務課・警防課]	891,880	市債	557,700
	①消防指令システム等の更新	557,700		
	消防指令システム及び消防救急デジタル無線の老朽化や通信技術の進化等に対応し、円滑な運用を確保するため更新及び機能強化を図るもの <債務負担行為予算>1,301,300千円 (R8~R9年度) [スケジュール] R6年度 消防指令システム等基本計画策定 R8・R9年度 消防指令システム等構築 R10年度 消防指令システム等の運用開始予定			
	②消防車両等の更新	302,000	市債	302,000
	消防ポンプ自動車 3台 中央消防署、北消防署大島分署、北消防署大三島分署 高規格救急車 2台 中央消防署、北消防署			
	③延焼防止水幕防御システム	6,380	市債	6,300
	強風下での飛び火拡大に備え、効果的な延焼防止を図るもの 100mの消防ホースに5m間隔で噴霧用のノズルを配置 高さ約13m、幅5m以上の水幕を形成することが可能			
	④北消防署女性専用室等増設工事	25,800	市債	25,800
	女性消防職員が安心して勤務できる職場環境を整備するため、女性用仮眠室及びトイレ、浴室を整備するもの。併せて、勤務形態の変更により仮眠室を2室増設するもの <参考> 実績：中央消防署 (H30)、西消防署 (R4)、西消防署菊間分署 (R5)、中央消防署東分署 (R6)、西消防署波方分署 (R7)			
	(2) 非常備消防 [消防本部総務課]	245,100		
	①朝倉方面隊第1分団消防詰所の統合整備	116,600	市債	116,600
	(第1部詰所と第2部詰所を統合するもの)			
	②今治方面隊第8分団消防詰所の統合整備	49,000	市債	49,000
	(鐘場詰所と大浜詰所を統合するもの)			
	③消防団車両等の更新	79,500	県(定額) 市債	21,750 51,000
	小型動力ポンプ積載車 2台 (玉川) 小型動力ポンプ軽四積載車 5台 (波方2台・菊間2台・上浦) 小型動力ポンプ一式 6台 (朝倉・大西・菊間・宮窪・伯方・上浦)			
◎ 94	令和7年今治市林野火災を教訓とした防災力強化			(ふるさと納税重点活用事業)
	[防災危機管理課・消防本部総務課・警防課]			
	令和7年今治市林野火災の検証結果を踏まえ、消防本部と防災担当部局間の情報共有体制や、被災現場の情報収集、緊急消防援助隊等との連携等、浮き彫りとなった課題等に対応することで、本市の防災力の強化を図り、その他の地震や風水害等にも迅速な対応が可能な消防・救急・防災体制を構築しようとするもの			
	(1) 災害時における情報収集・共有体制の強化	16,756		
	①消防ドローン部隊の拡充			
	ア 装備品	7,748		
	災害時にドローンを活用し、消防本部と防災担当部局が現場の状況をリアルタイムの映像で共有できるシステムを導入するとともに、ドローンの夜間活用を可能とする附属品の購入をしようとするもの			
	イ 体制	1,998		
	消防ドローン部隊の人員体制を強化するため、新たに国家資格の取得を目指す者を支援しようとするもの 人員体制10名→13名			
	②災害対策本部			
	災害対策本部室マルチディスプレイ更新	6,380		
	レガシー多機能電話機	141		
	モバイル端末用イヤホンマイク、ボディカメラ	489		
	(2) 消防団や緊急消防援助隊、自衛隊等との連携強化	16,862	市債	9,000
	広域災害等においても、消防団や緊急消防援助隊等の応援部隊と現場の状況や設備の情報等を即時に共有できる体制を整備しようとするもの			
	非常備消防用IP無線	31台		5,157
	林野火災用地図作成	一式		362
	消防水利システム	一式		1,643
	消防救急デジタル携帯無線	6台		9,042 ※93(1)①一部再掲
	ノートパソコン	3台		658
	(3) 林野火災を想定した連携強化訓練	1,250		
	災害対策本部及び消防本部の連携強化を図るため、導入資機材を活用した情報共有を含めた本部運営と災害現場、避難所での実動訓練を一体的に実施するもの			

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

【特別会計】				
<b>【港湾事業特別会計】</b>	<b>【港湾漁港課】</b>	417,000	参考 [前年度]	444,000
	[対前年度増減理由]			
	(歳入) 一般会計繰入金の減			
	(歳出) 港湾管理費の減、ふ頭管理費の減、貯木場管理費の減、企業債元金の減			
<b>【国民健康保険特別会計】</b>	<b>【保険年金課】</b>	16,064,000	参考 [前年度]	17,059,000
	[対前年度増減理由]			
	国民健康保険被保険者数の減			
<b>1 保険給付費</b>				
	療養給付費(一般)	9,900,000	県	9,900,000
<b>2 国民健康保険事業費納付金</b>				
	(1) 医療給付費分(一般)	2,580,126	県	77,721
	(2) 後期高齢者支援金分(一般)	894,339	手数料	1
	(3) 介護納付金分	329,471	諸収入	31,001
◎	(4) 子ども・子育て支援納付金分	76,513		
<b>【後期高齢者医療特別会計】</b>	<b>【保険年金課】</b>	3,818,000	参考 [前年度]	3,224,000
	[対前年度増減理由]			
	後期高齢者医療保険被保険者数の増			
<b>1 広域連合納付金</b>		3,758,620		
<b>【介護保険特別会計】</b>	<b>【介護保険課】</b>	19,495,000	参考 [前年度]	19,100,000
	[対前年度増減理由]			
	保険給付費の増			
<b>1 保険給付費</b>			国	4,517,828
	介護サービス等諸費	17,639,000	県	2,549,316
	① 居宅介護サービス費	7,090,000	交付金	4,761,990
	② 地域密着型介護サービス費	4,224,000	諸収入	1,996
	③ 施設介護サービス費	6,325,000		
<b>【企業会計】</b>				
<b>【水道事業会計】</b>	<b>【水道総務課】</b>	6,346,000	参考 [前年度]	6,832,000
	今治市内全域に水道水を供給する事業			
	[対前年度増減理由]			
	建設改良費の減			
<b>1 鉛管解消対策の加速化</b>				
	積極的な鉛管解消に向け、一般会計も費用の一部を負担することで引替件数の増加を図り、鉛管からの交換を加速化させるもの			
	(1) 鉛管引替助成金(300件)	100,000	補助金	25,000
	対象者：鉛製の給水装置を所有又は使用している者			
	補助額：道路部分 対象工事費の全額			
	宅地部分 上限13万円			
	(2) 鉛管引替工事(150件)	37,500		
<b>2 防災・減災対策事業</b>				
	大規模災害に備えた取組みを行うもの			
	(1) 重要給水施設管路耐震化事業(R5年度～R17年度)	188,702	国1/3、1/4	35,742
	今後発生することが見込まれる南海トラフ巨大地震に備え、非常時に特に水道水が必要となる救急指定病院などの重要給水施設への管路耐震化を実施し、R17年度までの完了を目指すもの		企業債	89,700
	全体事業費 約83億円			
	R8年度 配水本管整備工事(八町西地区 外5地区)			
	(2) 高橋馬越連絡管整備事業(R4年度～R9年度)	170,000	企業債	85,000
	高橋浄水場と馬越浄水場間で連絡管を整備し、平常時の水運用の合理化を図るとともに、大規模災害時や、渇水時における両浄水場間のバックアップ体制を構築するもの		出資金	81,600

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

全体事業費 約12.3億円 R 8 年度 高橋馬越連絡管整備工事（場内配管） 高橋馬越連絡管整備工事（機能増設） ※全体事業費150,000千円（債務負担行為R 8～R 9 140,000千円）			
(3) 宮窪伯方水融通管整備事業（R 7 年度～R17年度） 市町村合併により市域全体を一つの水道と捉え実現したしまなみ送水をさらに進 め、陸地部と島しょ部の浄水場間で水融通を行うことにより、安心・安全な水道 水の安定供給とともに、災害時や渇水時における相互連携体制を構築するもの 全体事業費 約12.1億円 R 8 年度 新宮窪配水池整備工事（造成）	42,000	企業債 出資金	21,000 19,500
<b>3 渇水対策事業</b> 近年の異常気象による水不足傾向を踏まえ、渇水に備える取組みを実施する (1) 予備水源効率化事業（R 5 年度～R13年度） 渇水対策水源を効率的に利用するため、高橋接合井や導水管を整備する 全体事業費 約9.5億円 R 8 年度 高橋接合井築造工事（機械工事） 予備水源施設整備実施設計業務委託  (2) 高橋馬越連絡管整備事業（R 4 年度～R 9 年度） <b>※再掲</b>	102,035		
<b>4 広域化事業</b> 高橋浄水場からの広域送水のための施設・管路整備を行い、事業効率化、水質安 全対策を図る。 今治玉川送水整備事業（R 5 年度～R 8 年度） クリプトスポリジウム対策が必要な水源から、高橋浄水場の送水に切り替え ることで水質安全対策を図る 全体事業費 約10億円 R 8 年度 三反地ポンプ場送配水管整備工事（三反地ポンプ場～新八幡配水池） 三反地ポンプ場築造工事（電気、場内整備） 新八幡配水池築造工事（電気、場内整備）	246,600	国1/4 企業債 出資金	24,228 61,500 43,300
<b>5 老朽管更新事業</b> 老朽化した配水管の布設替を行う R 8 年度 老朽管等布設替工事（中堀地区外）	545,565	企業債 補償金	90,800 20,000
<b>【簡易水道事業会計】【水道総務課】</b> 関前地域に水道水を供給する事業 【対前年度増減理由】 主に減価償却費の減	152,600	参考【前年度】	153,600
<b>【工業用水事業会計】【水道総務課】</b> 旧今治地域及び菊間地域の企業に工業用水を供給する事業 【対前年度増減理由】 投資（投資有価証券の購入）の増	780,400	参考【前年度】	377,400
<b>1 浄水場電気設備更新</b> 老朽化に伴う受変電設備等の更新を行うもの 小泉浄水場の電気設備更新設計	76,010	企業債	76,000
<b>2 投資</b> 有価証券の運用によって利息収入を得ようとするもの。 投資有価証券の購入	400,000		
<b>【下水道事業会計】【下水道業務課・下水道工務課・農業土木課】</b>  【対前年度増減理由】 建設改良費の増	11,457,000	参考【前年度】	10,356,000
<b>1 未普及対策・広域化共同化事業</b> (1) 公共下水道事業基本計画等変更業務委託（R 7 年度～R 8 年度） 人口減少などの地域社会の状況変化を踏まえ、下水道基本計画と事業計画を見直 すことで、計画区域や整備方針を適正化し、持続可能な下水道経営を実現するも の	32,000		

(単位：千円)

特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

(2) 未普及対策事業(下水道の新規整備工事) 下水道計画区域内の未整備地域で管きよ整備を進め、生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るもの 今治処理区の面整備	558,260	国1/2 市債 負担金 分担金	213,250 317,000 25,825 1,370
(3) 広域化共同化事業(隣接する処理場の統廃合) 処理場の統廃合に向けて処理区を接続するための管渠工事や設計を行い、施設の集約化による維持管理・更新コストの削減と効率的な事業運営を図るもの 【接続管渠実施設計】 (農集) 朝倉下処理区 ⇒ (公共) 今治処理区 (農集) 大西九王処理区 ⇒ (公共) 大西処理区 (漁集) 吉海志津見処理区 ⇒ (特環) 吉海処理区 (農集) 伯方北浦処理区 ⇒ (特環) 伯方木浦・有津処理区 【接続管渠整備】 (農集) 朝倉古谷処理区 ⇒ (公共) 今治処理区 (漁集) 吉海棕名処理区 ⇒ (特環) 吉海処理区 (農集) 吉海田浦処理区 ⇒ (特環) 吉海処理区 (農集) 上浦盛処理区 ⇒ (特環) 上浦井口処理区	357,300	国1/2 市債	175,150 182,100
<b>2 防災・減災対策事業</b>			
(1) ストックマネジメント事業 マンホールポンプの実施設計や管渠・ポンプ場の改築、耐震診断を行い、老朽化施設の計画的更新と耐震化を進めて、安全で安定的な下水処理機能を確認するもの 【管渠】 マンホールポンプ：改築実施設計 今治処理区管渠：改築工事、耐震診断 【施設】 立花中継ポンプ場、近見中継ポンプ場：自家発電設備等の更新 北部終末処理場：受変電設備の更新 北部終末処理場、吉海浄化センター、宮浦浄化センター：非線形解析(耐震診断) 今治浄化センター、伯方浄化センター、井口浄化センター：改築実施設計 天保山第2中継ポンプ場：改築実施設計	1,207,600	国1/2・5.5/10 市債	611,950 595,600
(2) 浸水対策事業 雨水ポンプ場の整備・改築に内水ハザードマップの整備を加え、防災・減災の強化と住民による自助・共助の意識醸成を図るもの 桜井河口排水ポンプ場：基本設計等 天保山排水ポンプ場：非線形解析(耐震診断) 高部下排水ポンプ場：耐震実施設計 内水ハザードマップ作成業務委託	130,300	国1/2 市債	65,150 65,100
<b>3 農業集落排水施設整備事業</b>			
農業集落排水施設を公共下水道等に統合し、施設の再編・集約化によってコスト削減と機能向上を図るもの 大三島口総処理場(廃止)、野々江処理場(統合)に伴う接続工事	80,000	国6/10 市債	44,400 35,600